

令和元年度
区政に関する区民アンケート調査
結果報告書

令和2年3月
大阪市生野区役所

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 回答者数と内訳	1
5. 調査項目	2
6. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. 回答者の属性について	3
2. 安全・安心について	5
3. 子育て・教育について	13
4. がん検診について	18
5. 大きな公共を担う地域社会について	21
6. すべてのひとが尊重されるまちについて.....	24
7. まちの魅力について	28
第3章 参考資料	39
1. 令和元年度「区政に関する区民アンケート」ご協力のお願い.....	39
2. アンケート本紙.....	40

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

大阪市生野区では、自律した自治体型の区政運営に向けて、また、生野区の特性を活かした施策・事業に取り組んでいるところである。この取組のためサイレント・マジョリティを含めた多様な区民の意見やニーズを把握し、取組の成果を測定することにより区政運営のより一層の充実を図ることを目的として実施する。

2. 調査方法

調査手法 : 調査票を調査対象者に送付し、返信用封筒により回収

調査対象者 : 無作為抽出した生野区に住民登録がある18歳以上の者（外国籍住民を含む）1,300名

調査実施期間 : 令和元年12月19日～令和2年1月6日

3. 回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,300	527	527	40.5%

※有効回収数：回収数の内、集計に使用可能なアンケートを有効回収数とする。

4. 回答者数と内訳

		性別				
		合計	男	女	その他	無回答
年代別	合計	527	224	302	1	0
	18・19歳	3	2	1	0	0
	20～29歳	37	14	23	0	0
	30～39歳	52	23	29	0	0
	40～49歳	74	25	49	0	0
	50～59歳	88	40	47	1	0
	60～69歳	82	43	39	0	0
	70～79歳	123	51	72	0	0
	80歳以上	66	25	41	0	0
	無回答	2	1	1	0	0

5. 調査項目

(1) 回答者の属性について	4 問
(2) 安全・安心について	8 問
(3) 子育て・教育について	5 問
(4) がん検診について	3 問
(5) 大きな公共を担う地域社会について	3 問
(6) すべての人が尊重されるまちについて	4 問
(7) まちの魅力について	11 問

6. 報告書の見方

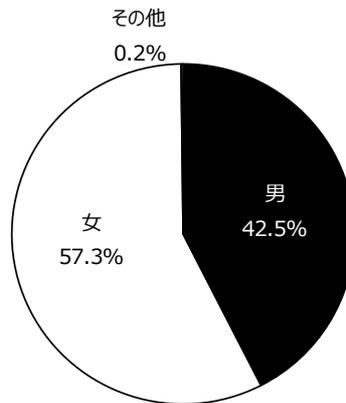
- (1) 質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。また、グラフでは、繁雑さを避けるため、回答がなかった場合の「0.0%」の表記を省略している場合があります。
- (2) 集計結果での比率（%）は、「無回答」を除外して算出しています。また、回答者の属性の無回答分については、属性のクロス集計から除外して算出していますので、クロス集計の回答数の合計と単純集計の全体数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは複数の質問を組み合わせることで集計することにより、性別・年代別などのグループごとの傾向を明らかにするための集計方法です。
- (3) 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- (4) 複数回答可の場合、回答者数に対する回答の比率を表しているため、合計値が 100.0%にならないことがあります。
- (5) 図表中の N 数は、その質問に対する回答者数を表します。

第2章 調査結果

1. 回答者の属性について

1-1 性別

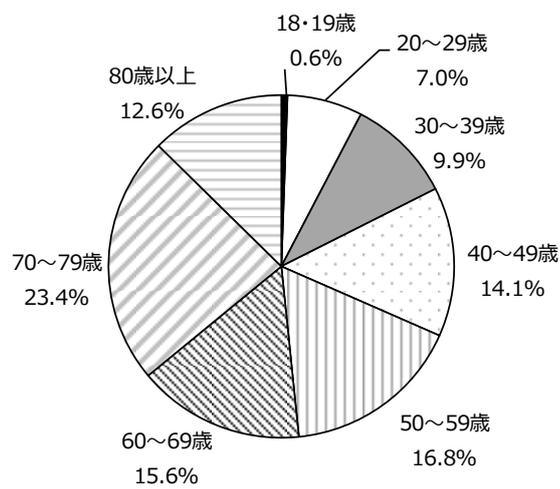
問1 あなたの性別をお答えください。 単一回答



(N=525)

1-2 年齢

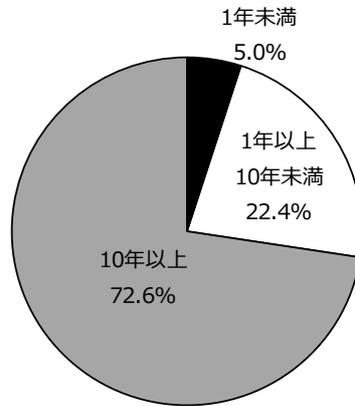
問2 あなたの年齢をお答えください。 単一回答



(N=525)

1 - 3 居住年数

問3	あなたが現在の住所にお住まいになってからの年数をお答えください。	単一回答
-----------	----------------------------------	------

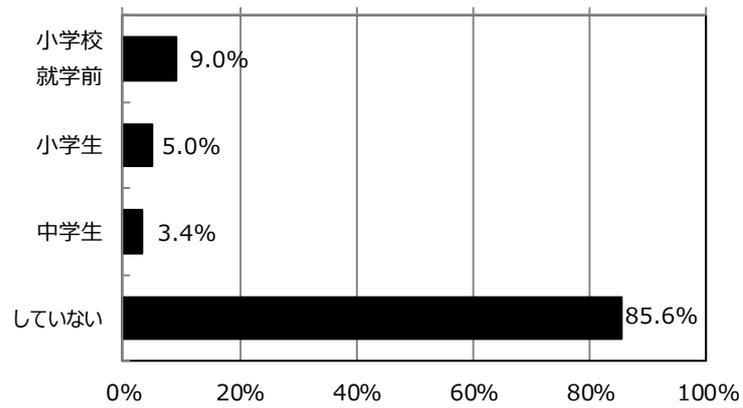


(N=522)

1 - 4 子育てについて

問4	あなたは現在、中学生以下のお子さまの子育てをしていますか。 (すべてのお子さまを回答)	複数回答
-----------	--	------

「していない」を回答された方の割合は 85.6%でした。
その結果より、子育てをしている方の割合は 14.4%となりました。



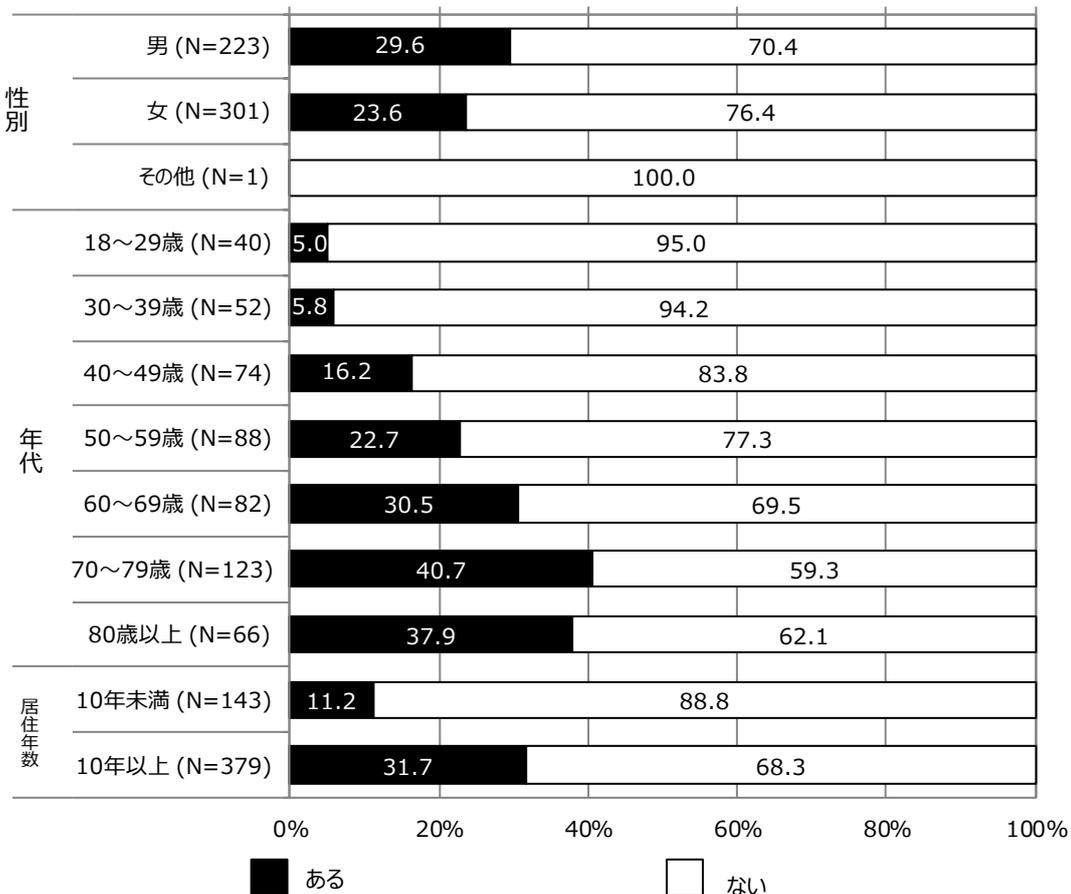
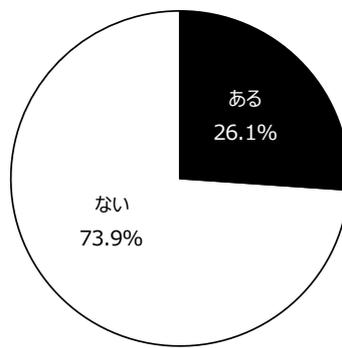
(N=522)

2. 安全・安心について

2-1 自主防災訓練の参加状況

問5	地域で行っている自主防災訓練に参加したことはありますか。	単一回答
-----------	------------------------------	------

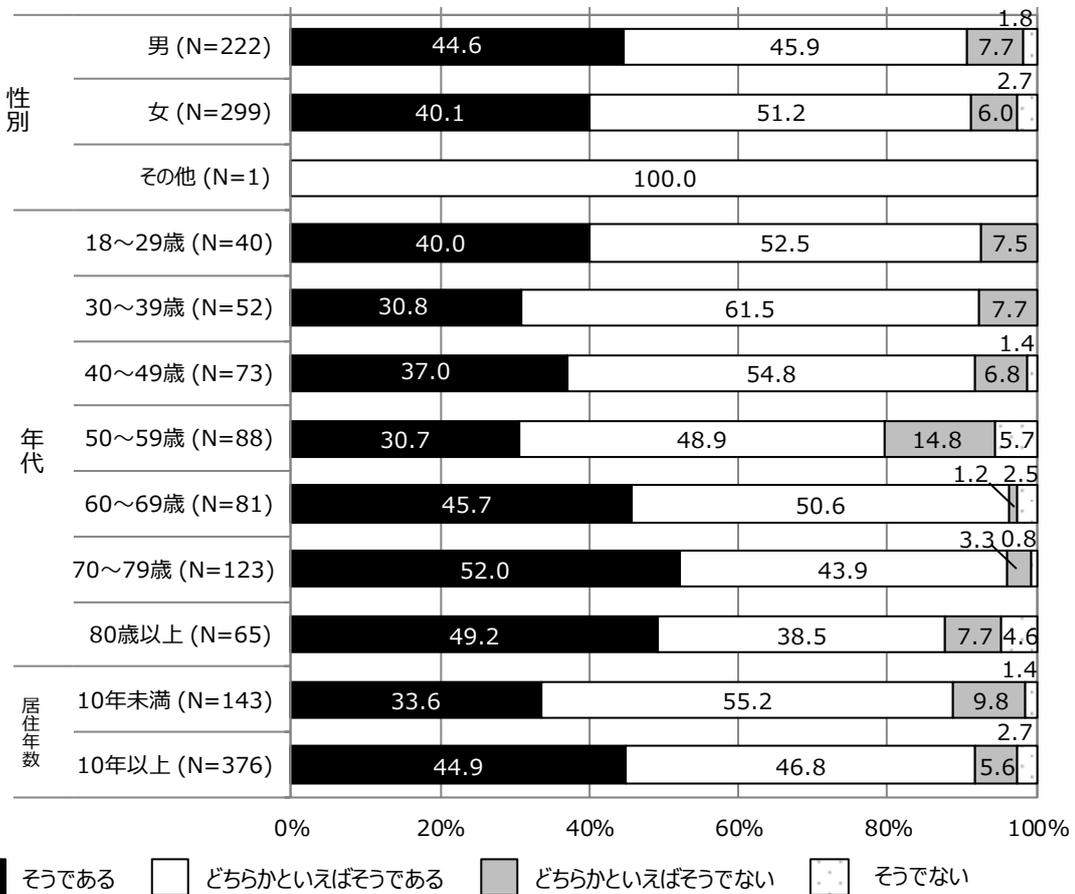
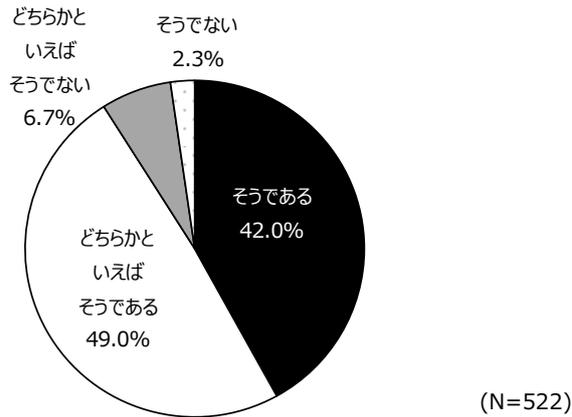
全体では「ある」と回答された方の割合が 26.1%、「ない」が 73.9%でした。性別では、「ある」と回答された男性の割合は 29.6%、女性は 23.6%となり、男性のほうが高い割合を示しました。年代別では「ある」と回答された方の割合が最も低かったのは「18～29歳」で 5.0%でしたが、そこから「70～79歳」まで年代が上がるに従って高くなり、「70～79歳」では 40.7%となりました。居住年数別では、「10年未満」の方で「ある」と回答された方の割合は 11.2%でしたが、「10年以上」では 31.7%となり、居住年数が長いと自主防災訓練に参加する割合が高くなる傾向が見られました。



2-2 防災活動の重要性の認識

問 6 地域での日頃からの防災訓練などの防災活動が重要だと感じますか。 単一回答

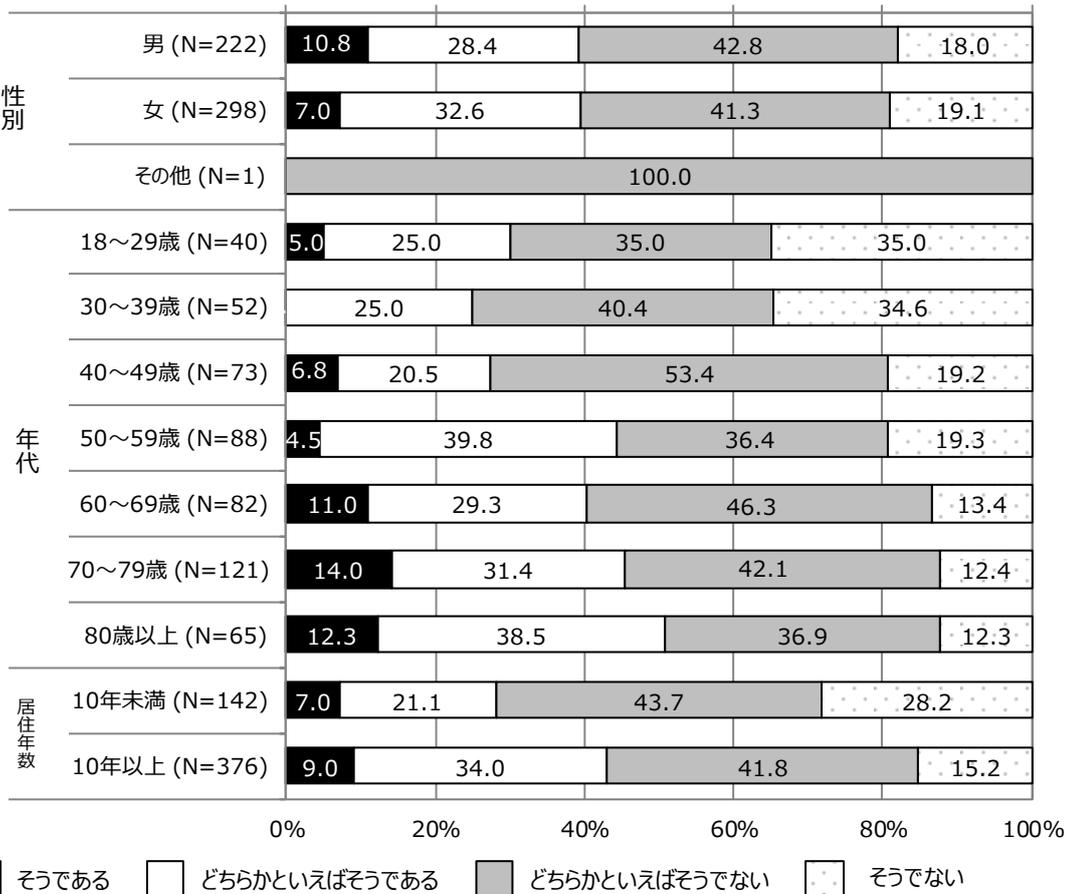
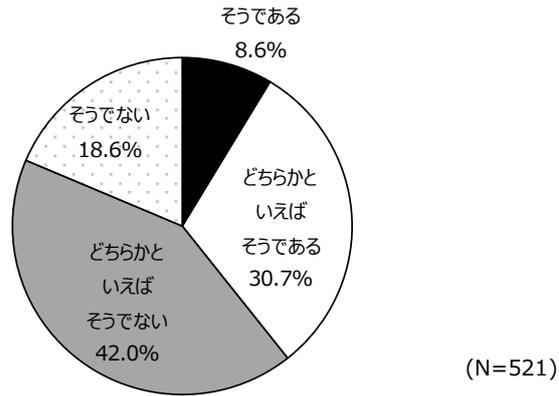
全体では「どちらかといえばそうである」と回答された方の割合が最も高く 49.0%でした。「そうである」をあわせた肯定的意見の割合は 91.0%となり、大部分の方が防災活動は重要だと感じています。年代別では、肯定的意見の割合が最も低かった年代は「50～59歳」で割合は 79.6%でしたが、他の年代では 80%以上となりました。居住年数別では、「10年未満」の方で「そうである」と回答された方の割合は 33.6%でしたが、「10年以上」では 44.9%となり、「10年以上」のほうが高い割合をなりました。性別では大きな差異は見られませんでした。



2-3 防災意識の状況

問7 住民の防災意識が高まっていると感じますか。 単一回答

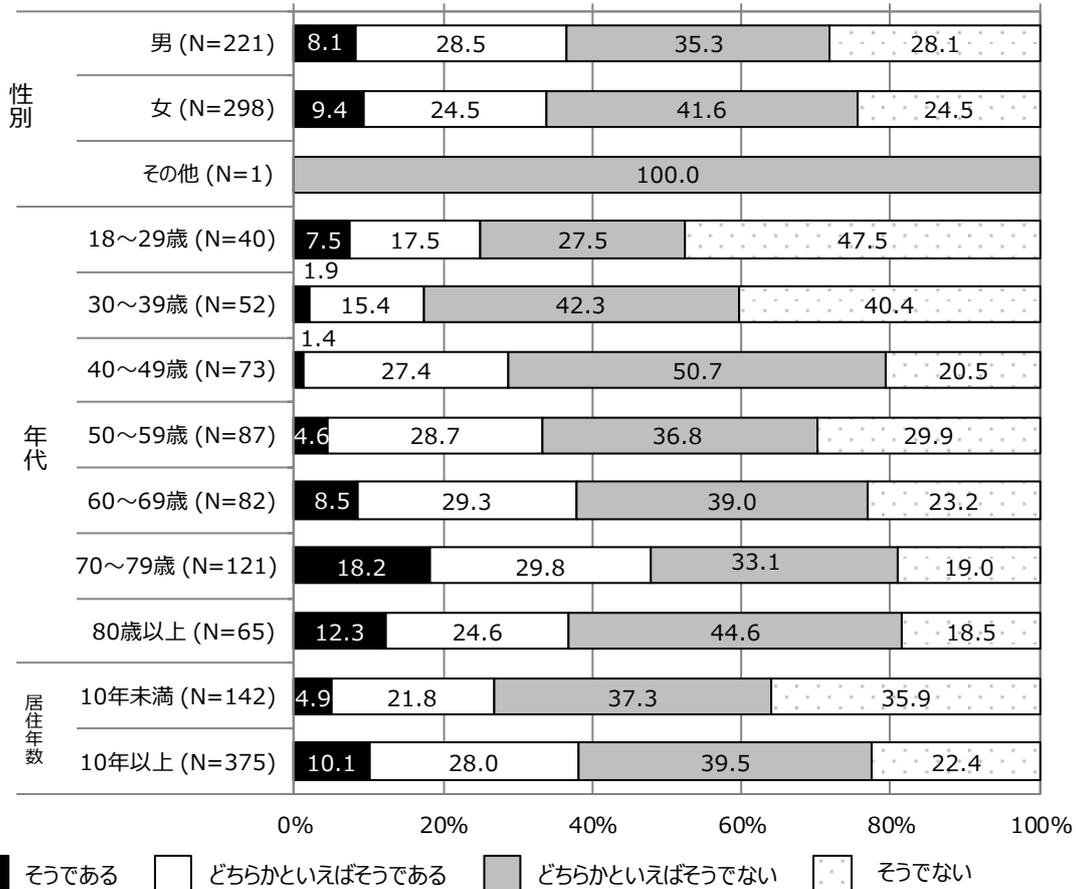
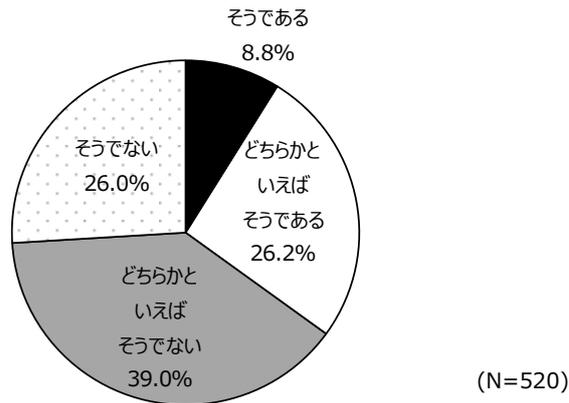
全体では「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合が最も高く 42.0%でした。「そうでない」と回答された方の割合を合わせた否定的意見の割合は60.6%となりました。年代別では肯定的意見に回答された方の割合が最も高かったのは、「80歳以上」で50.8%となりました。居住年数別では、肯定的意見を回答された「10年未満」の方の割合は28.1%でしたが、「10年以上」では43.0%と居住年数が長いと防災意識が高まっていると感じている結果となりました。性別では、大きな差異は見られませんでした。



2-4 「自分たちの地域は自分たちで守る」ための活動について

問 8	住民同士の協力により、「自分たちの地域は自分たちで守る」ための活動をしていると感じていますか。	単一回答
------------	---	------

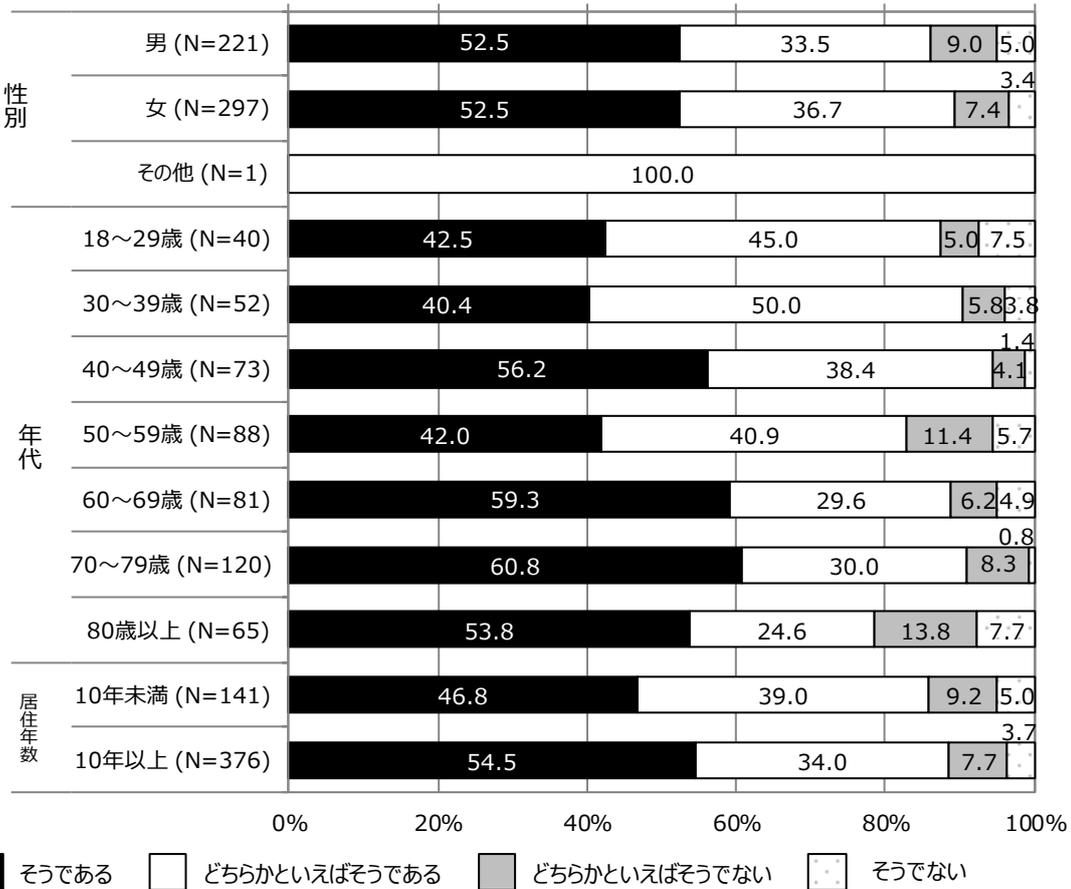
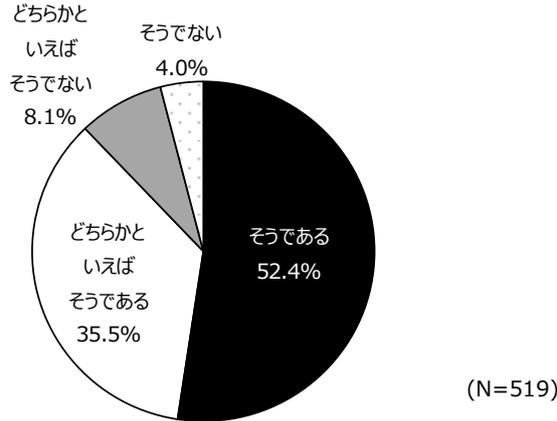
全体では「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合が最も高く 39.0%でした。「そうでない」を合わせた否定的意見の割合は65.0%となりました。年代別でみると肯定的意見の割合は、50歳以上の各年代にて30%を超える結果となりました。居住年数別でみると、肯定的意見の割合は、「10年未満」で26.7%でしたが、「10年以上」では38.1%となりました。居住年数が長いと「自分たちの地域は自分たちで守る」ための活動をしていると感じる傾向が見られました。性別では、大きな差異は見られませんでした。



2-5 地域住民の防犯への取り組みと地域の安全の関連

問9 地域住民の防犯への取り組みが、地域の安全につながると感じますか。 単一回答

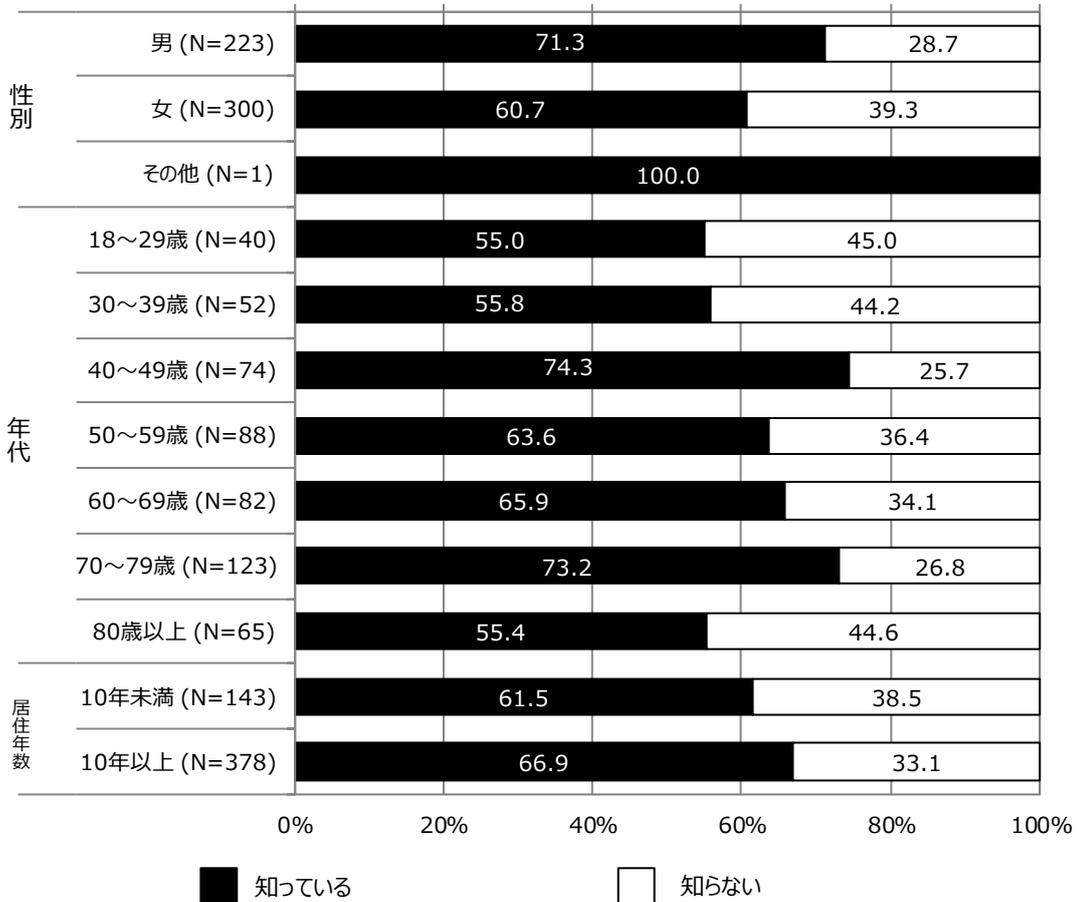
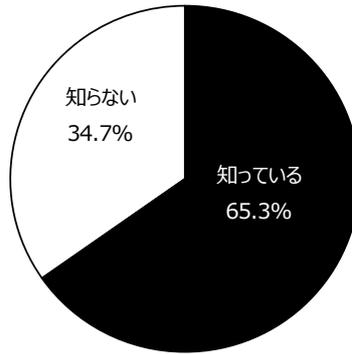
全体では「そうである」と回答された方の割合が最も多く52.4%、次いで多かったのが「どちらかといえばそうである」で35.5%となりました。両方あわせた肯定的意見の割合は87.9%となり、大部分の方が地域住民の防犯への取り組みが、地域の安全につながると感じています。年代別で肯定的意見の割合が最も低かった年代は「80歳以上」で78.4%でしたが、他の年代ではいずれも80%を超える結果となりました。性別、居住年数別では、大きな差異は見られませんでした。



2-6 防災関連のマップ及びマニュアル作成の認知状況について

問 10	区や地域の防災マップ・水害ハザードマップ・市民防災マニュアルなどが作成されていることを知っていますか。	単一回答
-------------	---	------

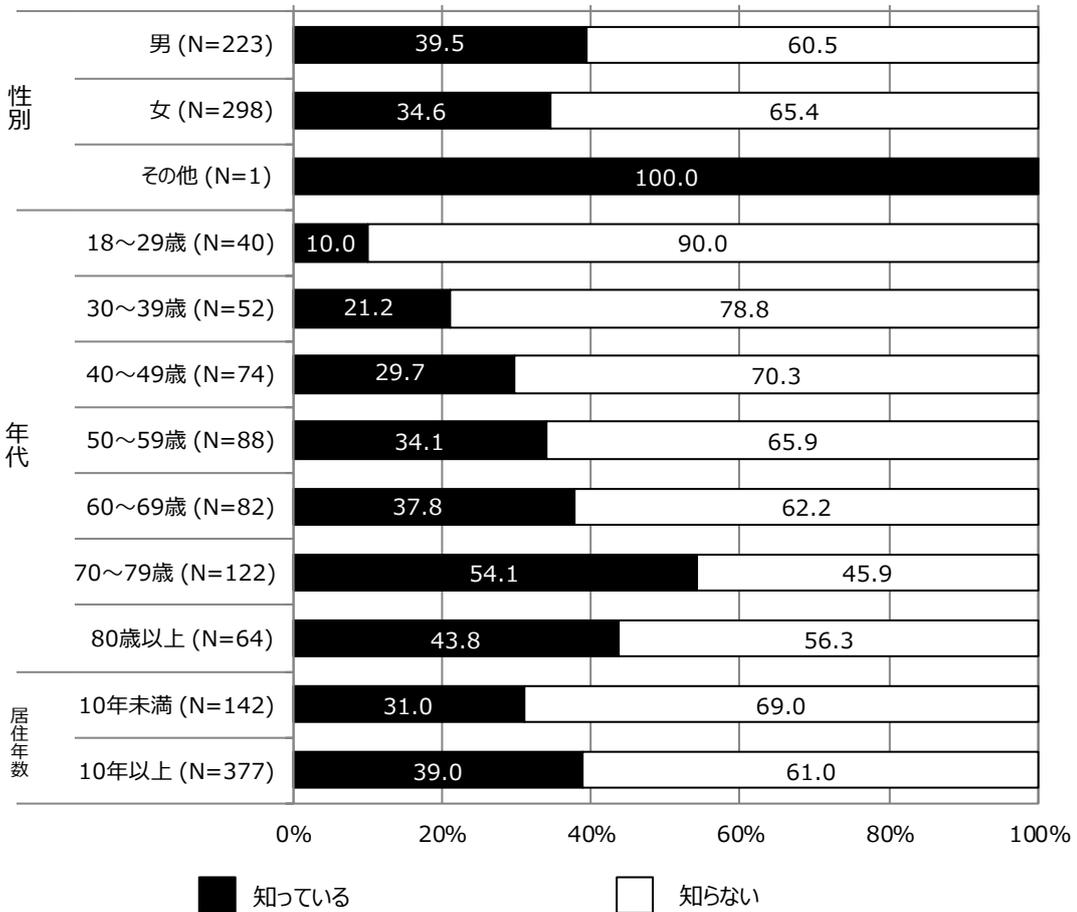
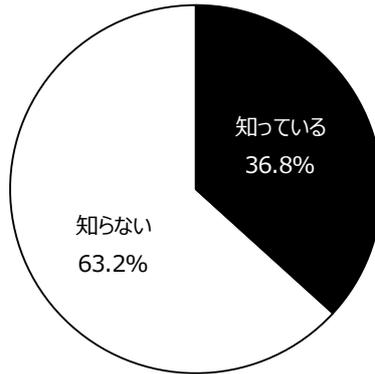
全体では「知っている」と回答された方の割合は 65.3%、「知らない」は 34.7%でした。性別では「知っている」と回答された男性の方は 71.3%、女性は 60.7%となり、男性のほうがより知っている結果となりました。年代別では、40～79 歳までの各年代にて「知っている」と回答された方の割合は 60%を超えました。居住年数別では、「10 年未満」の方で「知っている」と回答された方の割合は 61.5%、「10 年以上」で 66.9%となり居住年数が長いほうがより知っている結果となりました。



2-7 自転車の交通マナーアップに向けた取組みの認知状況

問 11	あなたは、自転車交通マナーアップに向けた取組みが行われていることを知っていますか。	単一回答
-------------	---	------

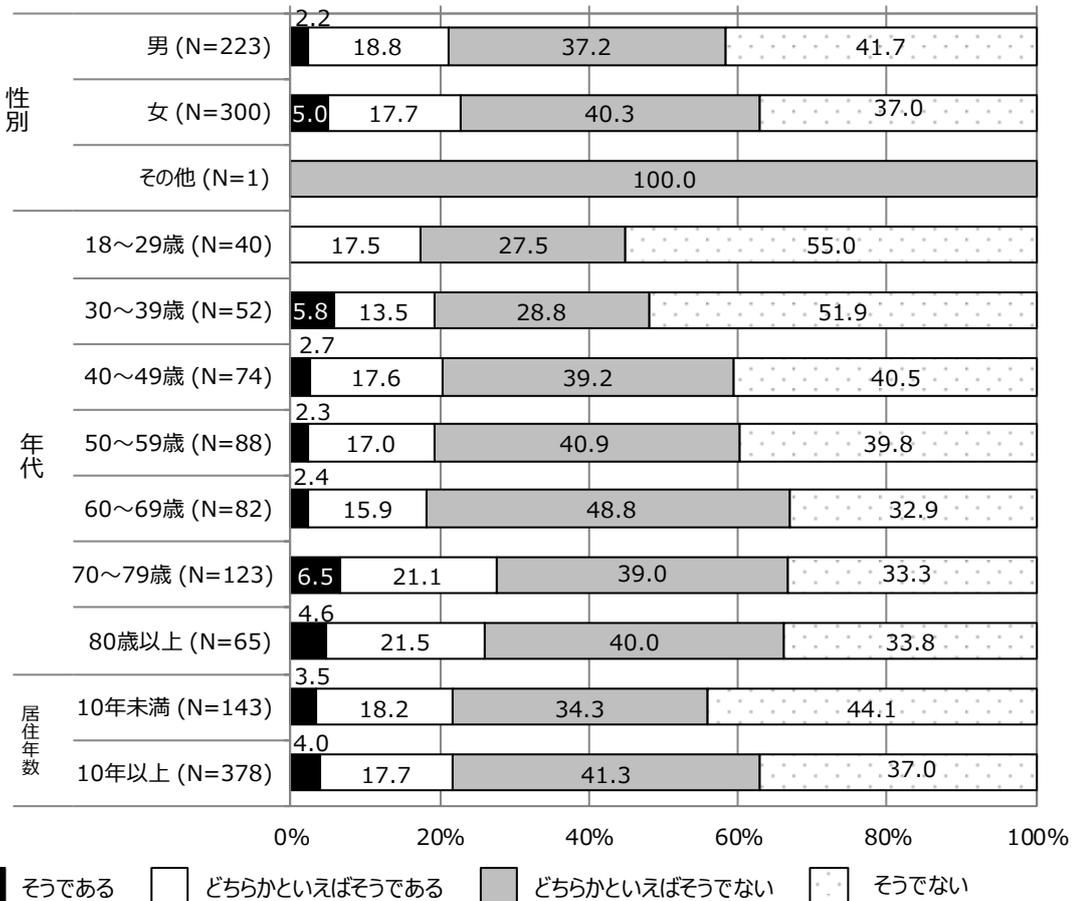
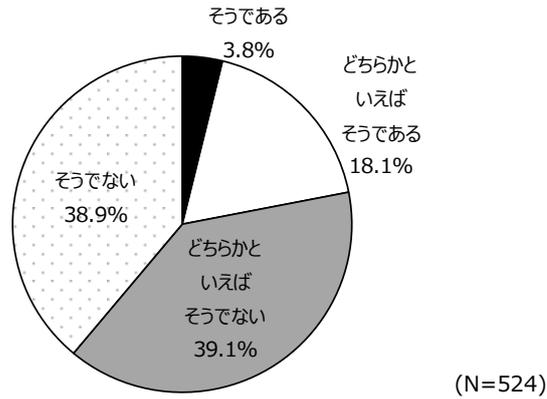
全体では「知っている」と回答された方の割合は 36.8%、「知らない」は 63.2%となりました。年代別では「知っている」と回答された方の割合が最も低い年代は「18～29歳」で 10.0%となりましたが、そこから年代が上がるに従って割合も高くなり、「70～79歳」では 54.1%と最も高くなりました。居住年数別では、「知っている」と回答された「10年未満」の方の割合は 31.0%、「10年以上」で 39.0%となり居住年数が長いと取組みが行われていることをより知っているという結果となりました。性別では大きな差異は見られませんでした。



2-8 自転車の交通マナーについて

問 12 区民の自転車交通マナーが以前より向上していると感じますか。 単一回答

全体で最も多い回答は「どちらかといえばそうでない」で割合は 39.1%となりました。「そうでない」の割合をあわせると 78.0%となり、多くの方が自転車のマナーが以前より向上していると感じていないことがわかります。年代別では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合計した肯定的意見の割合が高かった年代は「70～79 歳」で 27.6%、「80 歳以上」で 26.1%でしたが他の年代では 20%前後となりました。性別と居住年数別による大きな差異は見られませんでした。

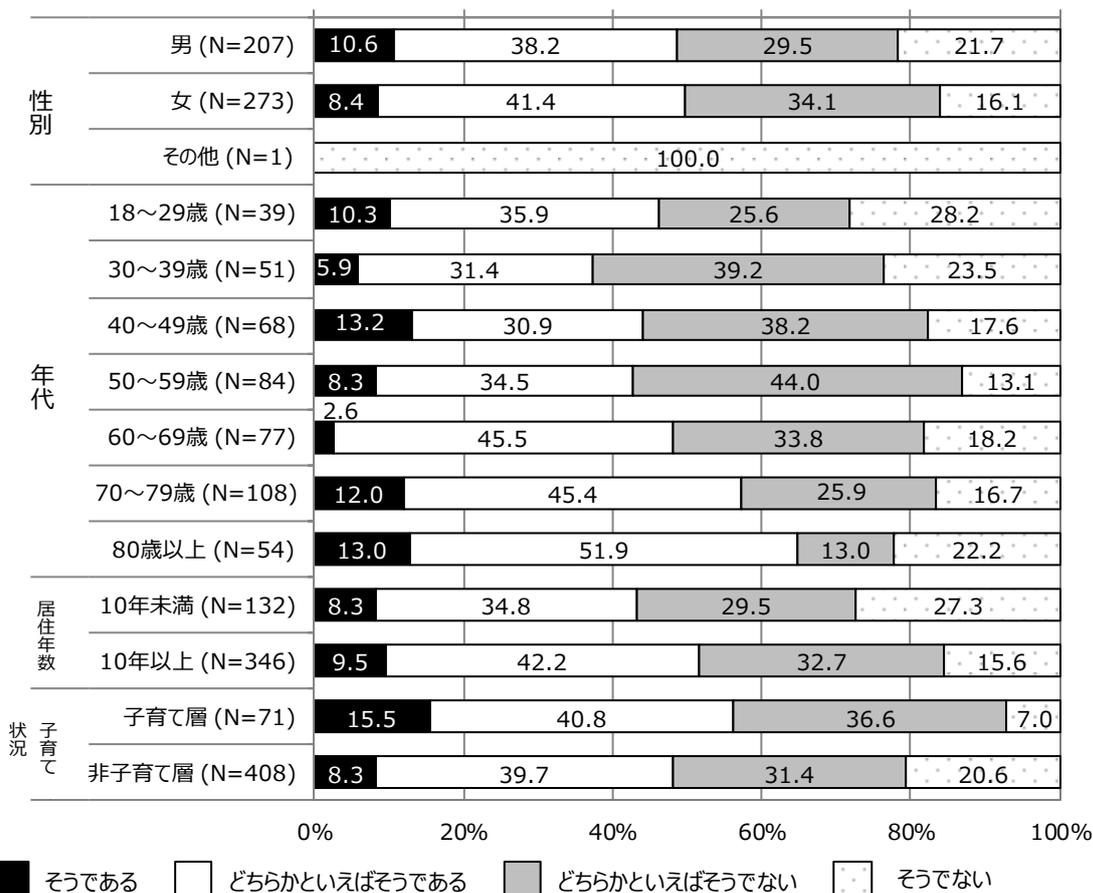
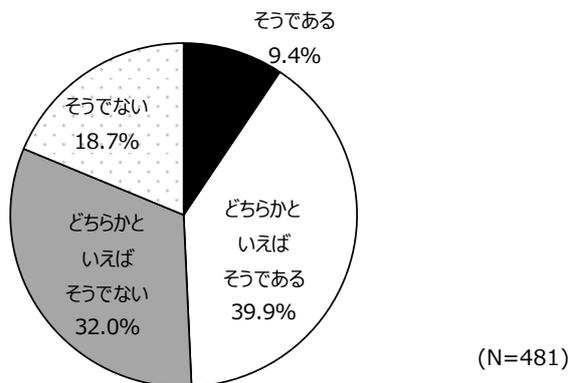


3. 子育て・教育について

3-1 特色ある学校づくりに向けた取り組みへの評価

問 13	区内の各小中学校で、地域との連携や学校独自の取り組みなど特色ある学校づくりが進められていると感じますか。	単一回答
-------------	--	------

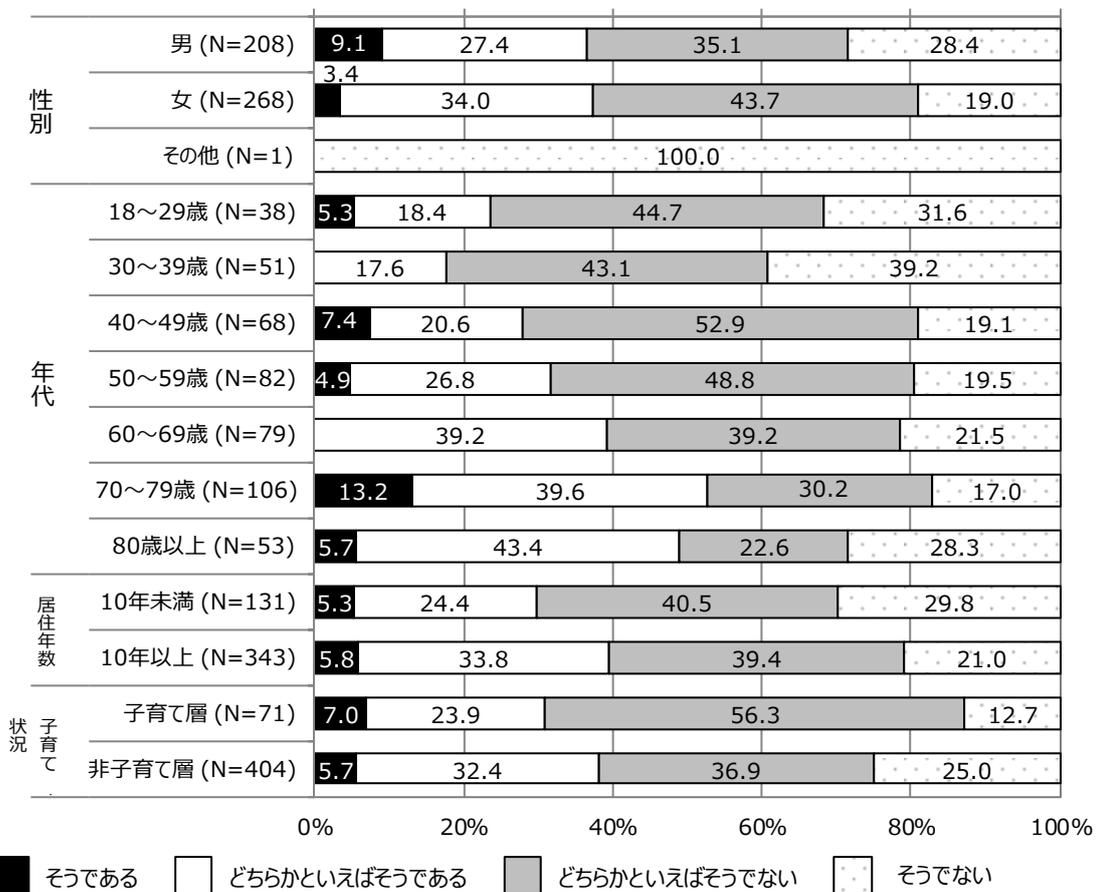
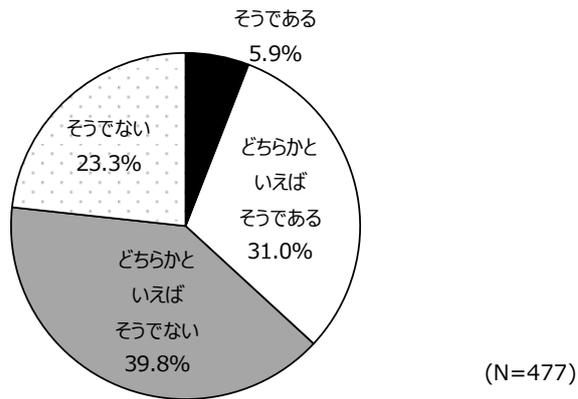
全体では「どちらかといえばそうである」と回答された方の割合が最も高く 39.9%でした。「そうである」の割合を合わせた肯定的意見の割合は 49.3%と半数近い割合を示しました。年代別では肯定的意見の割合が最も低かった年代は「30～39 歳」で 37.3%でした。しかし、高い年代では肯定的意見の割合が他の年代より高く、「70～79 歳」で 57.4%、「80 歳以上」で 64.9%となり 50%を超える結果となりました。居住年数別では、「10 年未満」の肯定的意見の割合は 43.1%、「10 年以上」で 51.7%となり居住年数が長いと肯定的意見の割合も高くなる結果となりました。また、「子育て層」の肯定的意見の割合は 56.3%、「非子育て層」は 48.0%となり、「子育て層」のほうが特色ある学校づくりが進められていると感じている結果となりました。性別による大きな差異は見られませんでした。



3-2 特色ある学校づくりの情報発信に対する評価

問 14	区内の各小中学校で、特色ある学校づくりの情報発信に関する区役所の取り組みが進んでいると感じますか。	単一回答
-------------	---	------

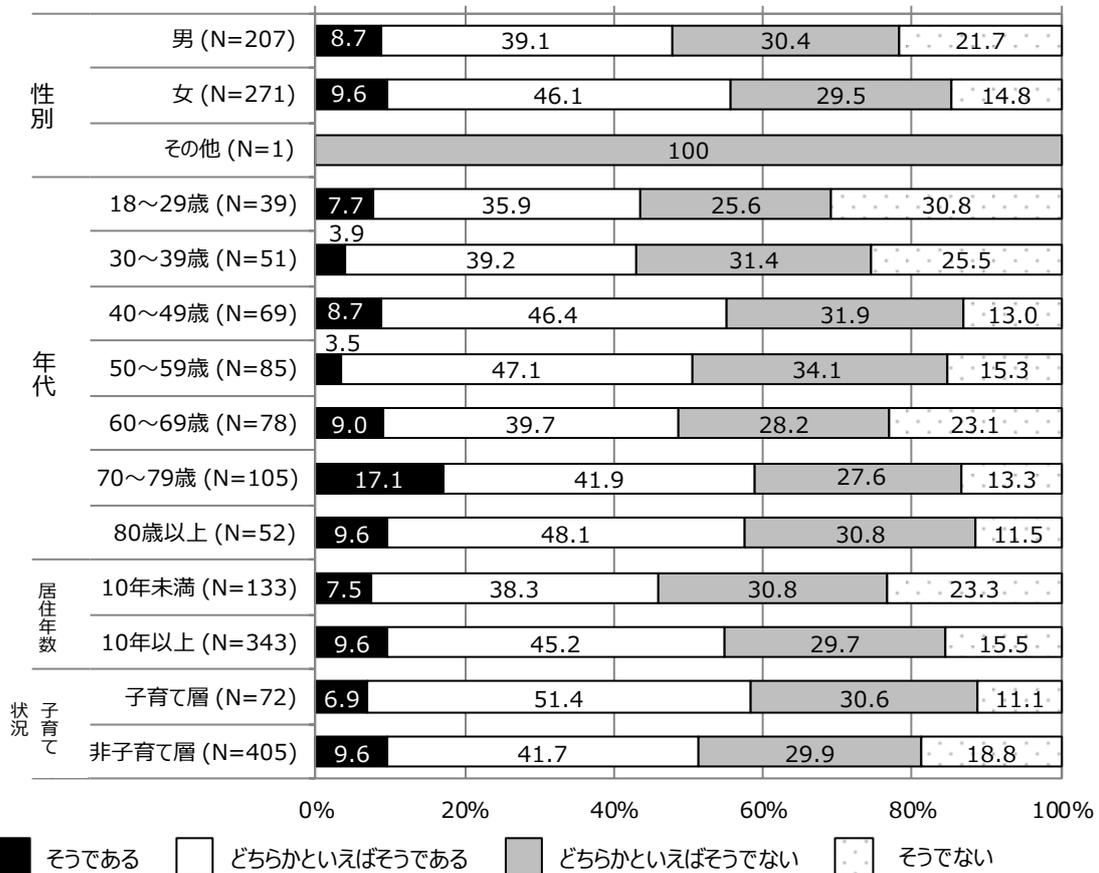
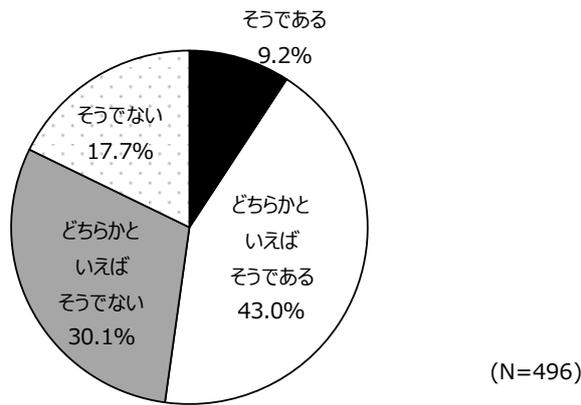
全体では「どちらかといえばそうでない」と回答された方の割合が最も高く 39.8%となりました。「そうでない」の割合を合わせると 63.1%となり、半数以上の方が取り組みが進んでいると感じていない結果となりました。年代別では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた肯定的意見の割合は「70～79 歳」で最も高く 52.8%となりました。居住年数別では、肯定的意見の割合は「10 年未満」で 29.7%、「10 年以上」で 39.6%となり、居住年数が長いと、肯定的意見の割合が高くなる結果となりました。子育て層の肯定的意見は 30.9%でしたが、非子育て層は 38.1%となり、非子育て層のほうが高い割合を示しました。性別による大きな差異は見られませんでした。



3-3 子育てのしやすさに関する評価

問 15 子育てのしやすいまちであると感じますか。 単一回答

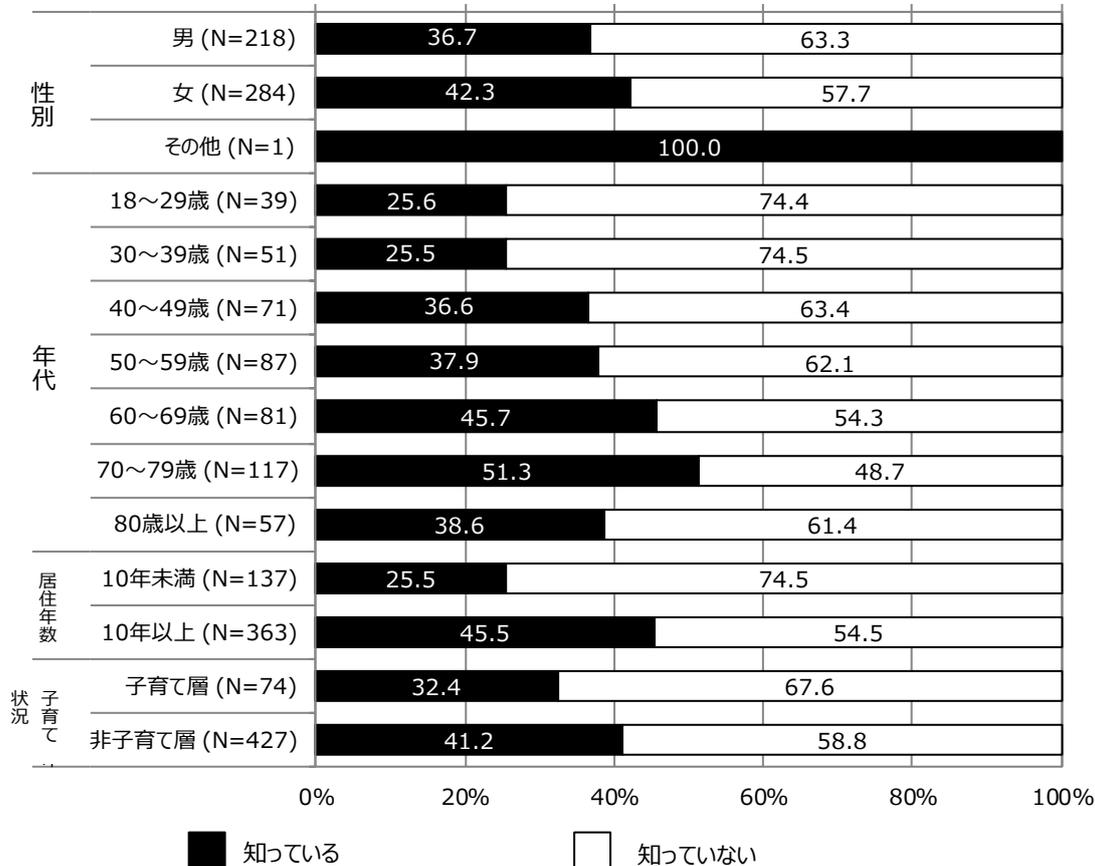
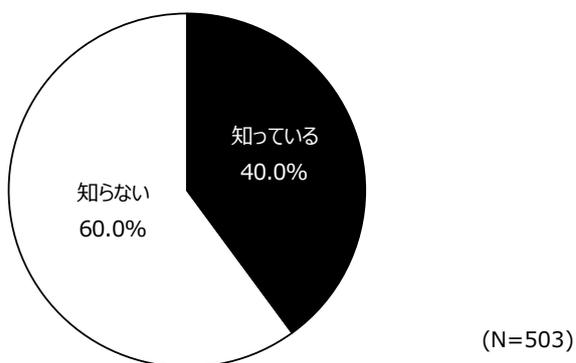
全体では「どちらかといえばそうである」と回答された方の割合が最も多く 43.0%となりました。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 52.2%となり、半数以上の方が子育てしやすいまちであると感じています。性別では、「男性」の肯定的意見の割合は 47.8%、「女性」は 55.7%となり、女性の半数以上が子育てしやすいまちと感じている結果となりました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かったのは「70～79 歳」で 59.0%となりました。次いで「80 歳以上」で、57.7%となりました。居住年数別では、「10年未満」の肯定的意見の割合は 45.8%、「10年以上」の 54.8%となり、居住年数が長いと子育てしやすいまちと感じる傾向が見られました。また、「子育て層」の肯定的意見の割合は 58.3%、「非子育て層」は 51.3%となり、「子育て層」のほうが高い割合を示す結果となりました。



3-4 各小学校で実施している「生涯学習ルーム」の認知状況

問 16	<p>「生涯学習ルーム」とは、学校の特別教室等を活用して、様々な講座を開催し、学ぶことを通して地域の人たちの交流を進め、学んだことを伝えていく、また新たな取り組みを生み出していく活動の場です。</p> <p>あなたは、各小学校で実施している「生涯学習ルーム」を知っていますか。</p>	単一回答
-------------	--	------

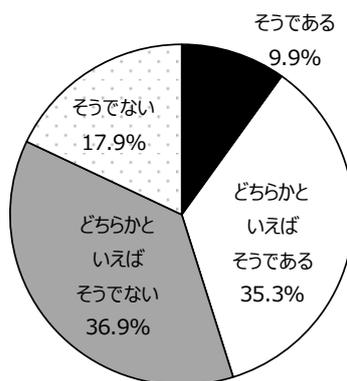
全体では、「知っている」と回答された方の割合は40.0%、「知らない」が60.0%となりました。性別で見ると、「男性」の方で「知っている」と回答された方の割合は36.7%、「女性」は42.3%となり、「女性」のほうがより知っている結果となりました。年代別では「知っている」と回答された方の割合が最も低かった年代は「30～39歳」で25.5%でした。しかし、そこから「70～79歳」まで年代が高くなるに従って割合も高くなり、「70～79歳」では51.3%となりました。また、居住年数別では、「知っている」と回答された「10年未満」の方の割合は25.5%、「10年以上」は45.5%となり、居住年数が長いと知っている割合が高くなる傾向が見られました。また、「知っている」と回答された「子育て層」は32.4%、「非子育て層」は41.2%となり、「非子育て層」のほうがより知っている結果となりました。



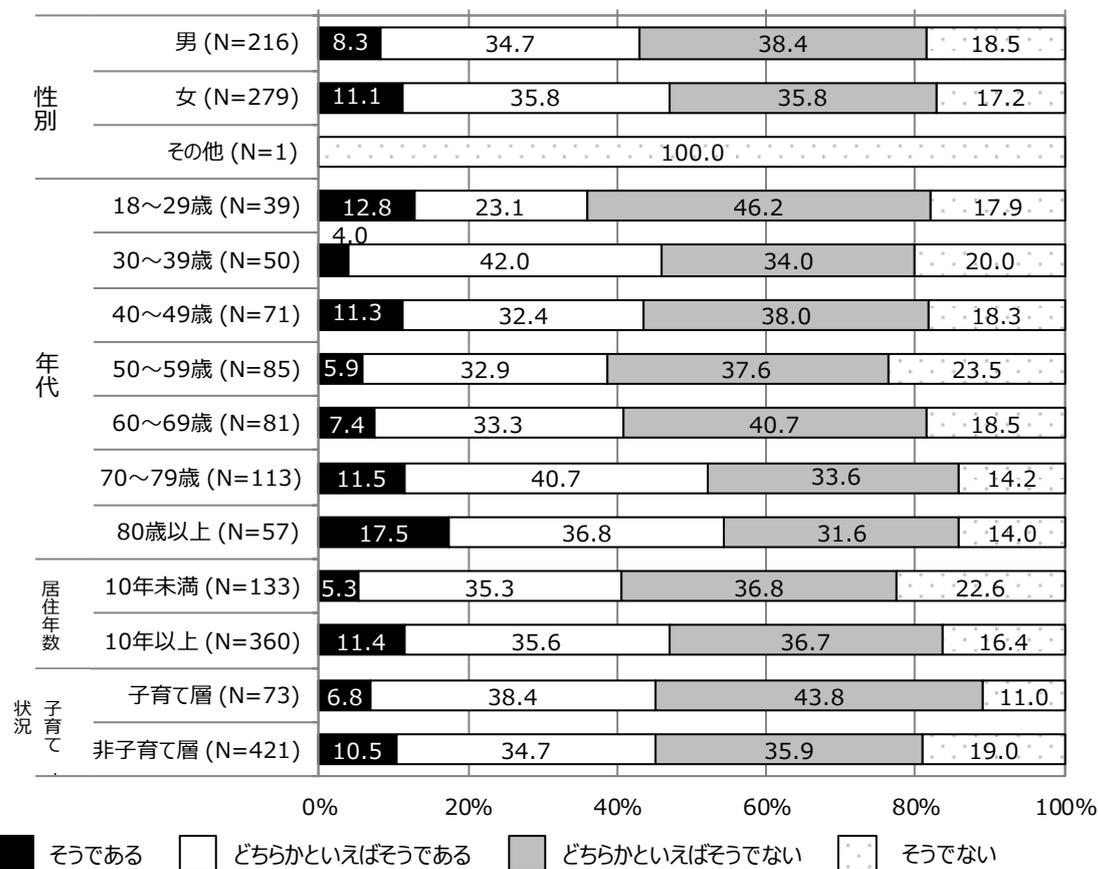
3-5 地域の学習、体験や交流ができる機会について

問 17	学校だけでなく、地域でさまざまな学習、体験や交流ができる機会があると感じますか。	単一回答
-------------	--	------

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうでない」で割合は 36.9%でした。「そうでない」を合わせた否定的意見の割合は 54.8%となり半数以上の方が地域で学習等できる機会があると感じていない結果となりました。年代別では、肯定的意見の高かった年代は「80 歳以上」で 54.3%、「70～79 歳」で 52.2%となり、高い年代で割合が高くなる傾向が見られました。居住年数別では、「10 年未満」の肯定的意見の割合は 40.6%、「10 年以上」で 47.0%となり、居住年数が長いと肯定的意見の割合が高くなる傾向が見られました。性別、子育て層かどうかによる大きな差異は見られませんでした。



(N=496)

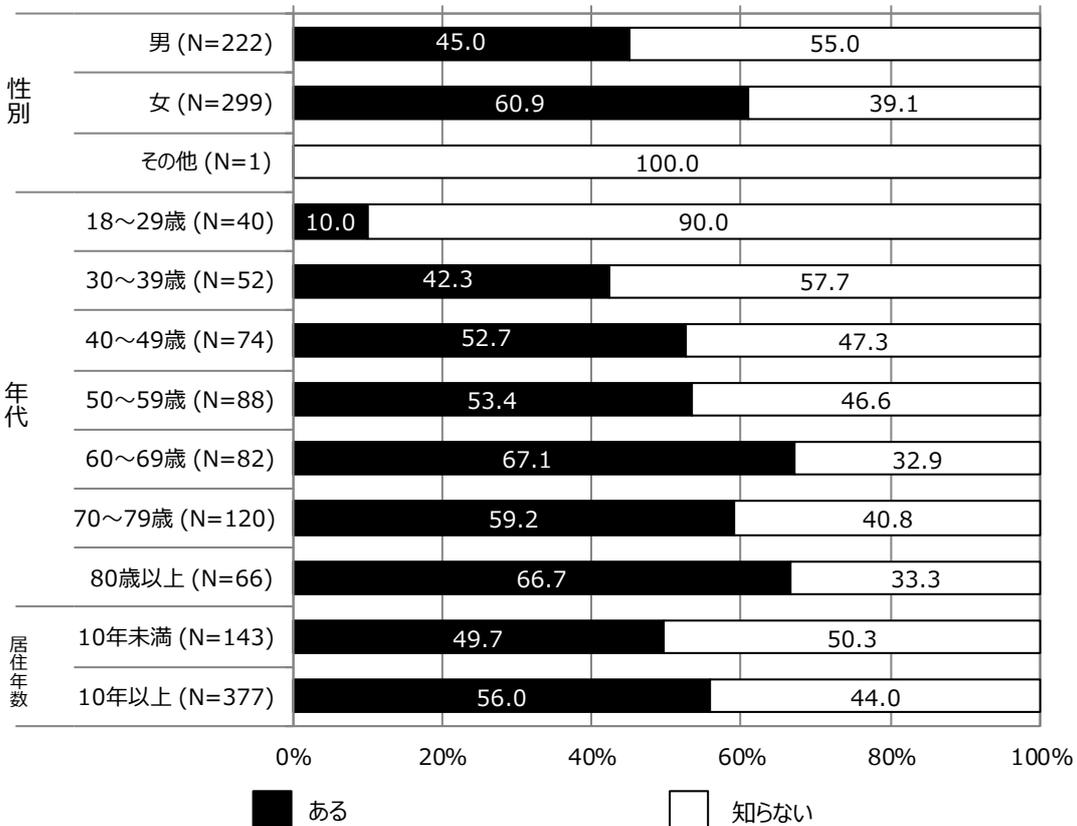
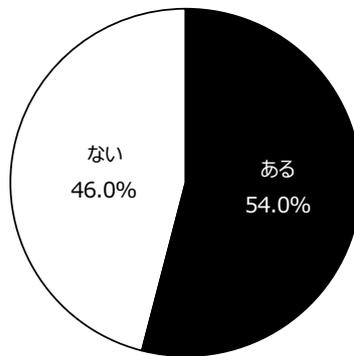


4. がん検診について

4-1 がん検診の受診状況

問 18 あなたはがん検診を受けたことがありますか。 単一回答

全体では「ある」と回答された方の割合は 54.0%、「ない」は 46.0%となりました。性別では、「男性」でがん検診を受けたことのある方の割合は 45.0%、「女性」で 60.9%となり、「女性」のほうが高い割合を示しました。年代別では、がん検診を受けたことがある方の割合が最も高かった年代は「60～69 歳」で 67.1%となりました。次いで、「80 歳以上」で 66.7%、「70～79 歳」で 59.2%と続き、60 歳以上の年代にてがん検診を受けた割合も高くなる結果となりました。居住年数で見ると、「10 年未満」の方の割合は 49.7%、「10 年以上」で 56.0%となり、居住年数が長いとがん検診を受けた割合も高くなる傾向が見られました。



4 - 2 がん検診を受けない理由

問 19	上の質問で、「ない」とお答えした方へおたずねします。あなたががん検診を受けないのはどうしてですか。	単一回答
-------------	---	------

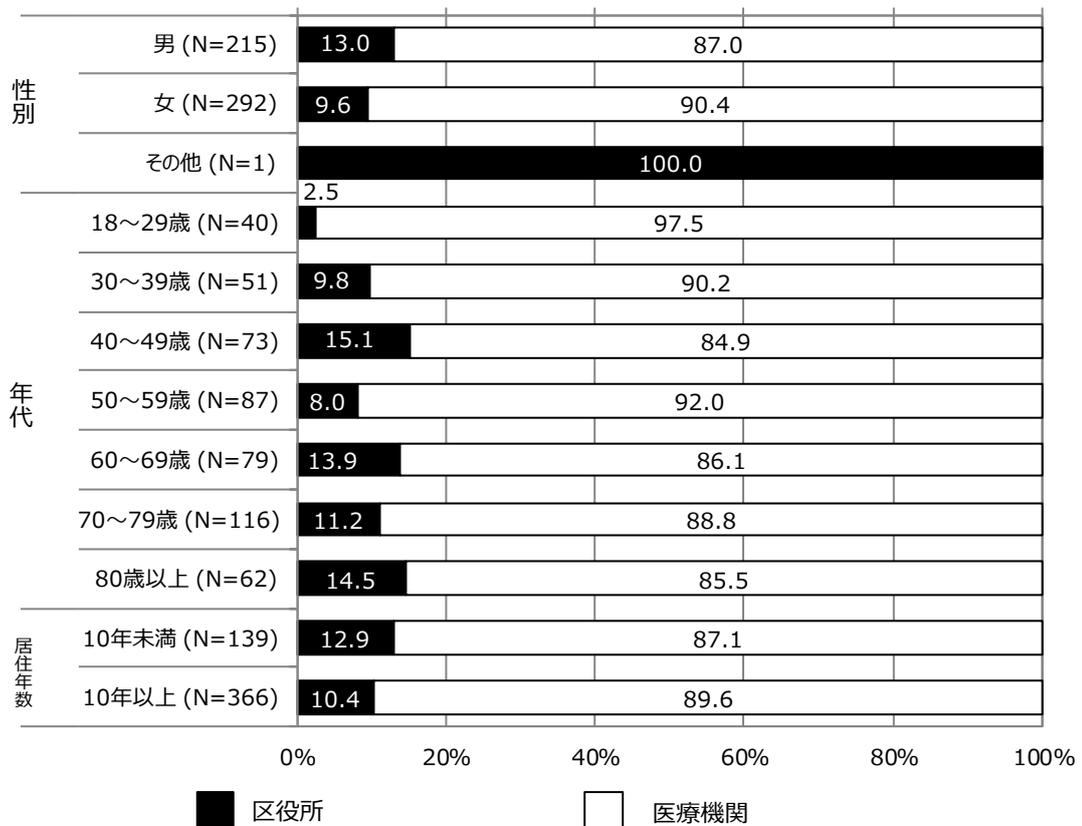
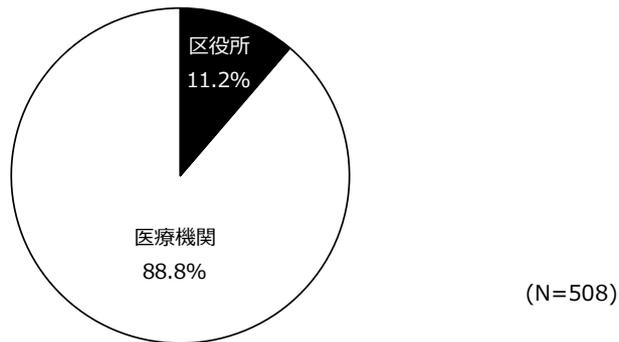
がん検診を受けない理由について、183 名の方から 194 件の回答がありました。

主な内容	件数
時間がない	39
健康だから	26
機会がない	23
個人的に病院で検診	18
面倒	13
若いから	12
費用が高い	10
意識が薄い	9
悪い結果を聞かされることへの不安	6
受診方法がわからない	5
病院が嫌い、信用していない	5
会社の健康診断で検診	4
検診場所がわからない	3
必要性を感じない	3
失念する	2
ガンの家系ではない	2
受診の案内がない	1
保険証がない	1
その他	12
合計	194

4-3 がん検診を受ける場合の希望する場所

問 20	がん検診をもし受けるとしたら、区役所または医療機関、どちらでの受診を希望しますか。	単一回答
-------------	---	------

全体では「区役所」と回答された方の割合は11.2%、「医療機関」は88.8%となり、大部分の方が「医療機関」を希望している結果となりました。年代別では、「区役所」と回答された方の割合が最も低かった年代は「18～29歳」で2.5%、最も高かった年代は「40～49歳」で15.1%となり、年代間で大きな差異が見られました。性別、居住年数別による大きな差異は見られませんでした。

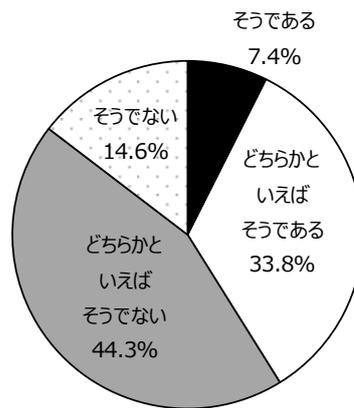


5. 大きな公共を担う地域社会について

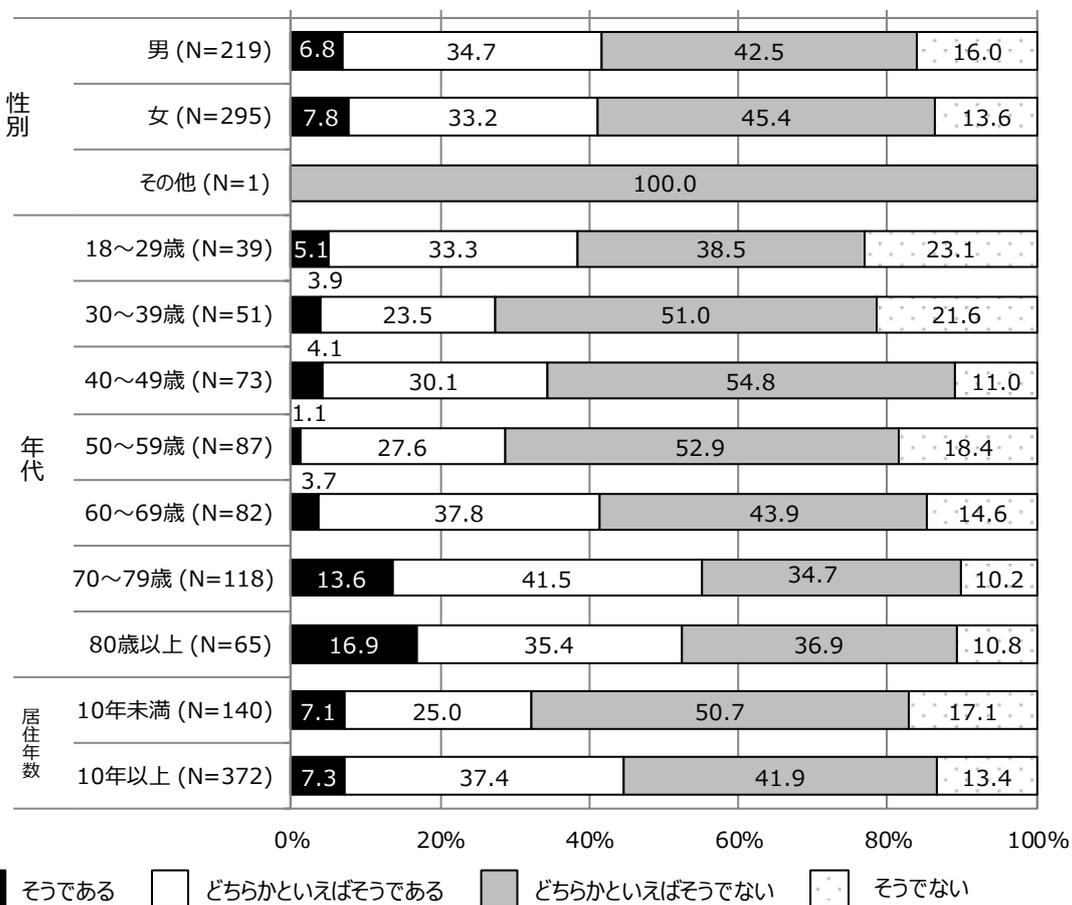
5-1 地域の支援が必要な方が安全・安心に暮らせるようになったかどうかに対する評価

問 21	地域におけるつながりが強くなり、支援を必要としている方が安全・安心に暮らせるようになったと感じますか。	単一回答
-------------	---	------

全体では最も多かった回答は「どちらかといえばそうでない」でその割合は44.3%でした。「そうでない」を合わせた否定的意見の割合は58.9%となりました。年代別では、70歳以上の各年代の「そうである」「どちらかといえばそうである」を合わせた肯定的意見の割合は他の年代に比べ高く、50%を超える結果となりました。居住年数別では、「10年未満」の肯定的意見の割合は32.1%、「10年以上」で44.7%となり、居住年数が長いと肯定的意見の割合も高くなる結果となりました。性別による大きな差異は見られませんでした。



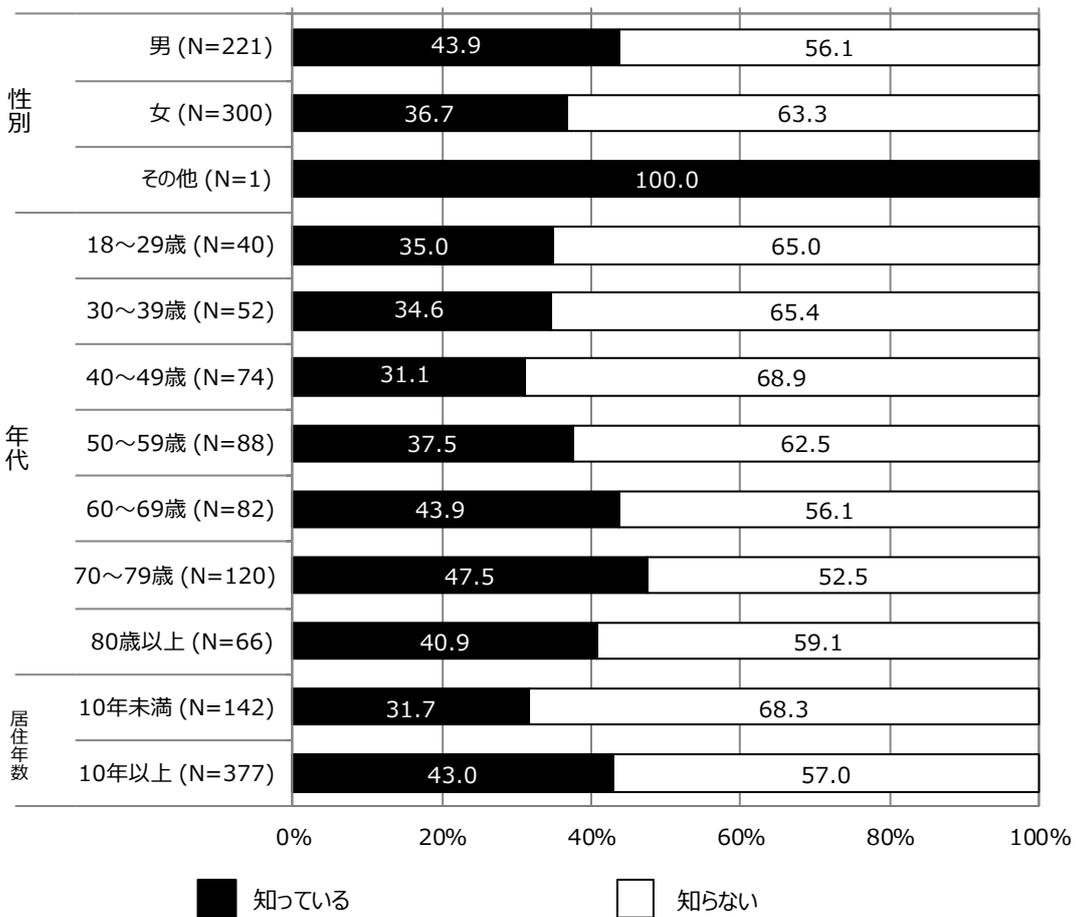
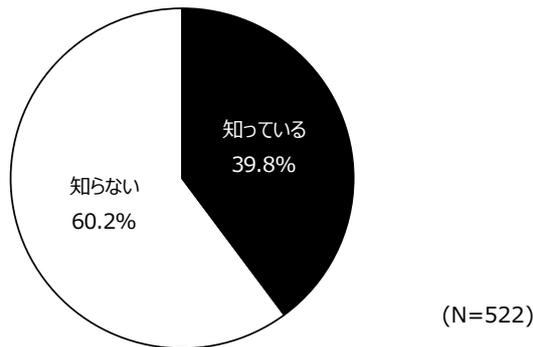
(N=515)



5 - 2 生野区を盛り上げる取組の認識状況

問 22	生野区を盛り上げるさまざまな取組が各地域で行われていることを知っていますか。	単一回答
-------------	--	------

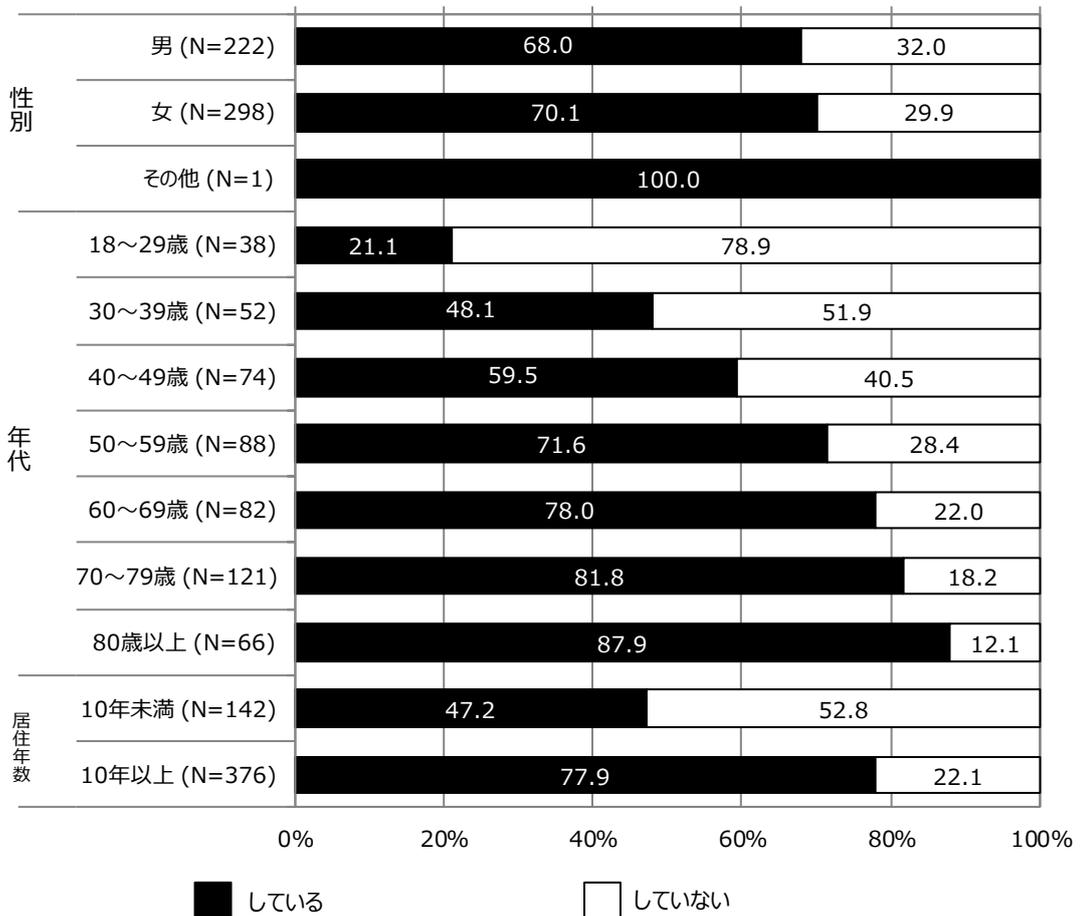
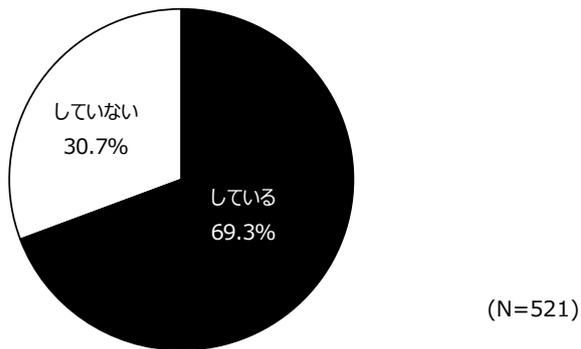
全体では、「知っている」と回答された方の割合は 39.8%、「知らない」は 60.2%となりました。性別では、「男性」で「知っている」と回答された方の割合は 43.9%、「女性」は 36.7%となり、「男性」のほうがより知っている結果となりました。年代別では、60 歳以上の各年代にて、「知っている」と回答された方の割合は 40%を超え、他の年代より高い結果となりました。居住年数別では、「10 年未満」の方で「知っている」と回答された方の割合は 31.7%、「10 年以上」で 43.0%となり、居住年数が長いと知っている割合が高くなる傾向が見られました。



5 - 3 自治会・町内会の加入状況

問 23 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。 単一回答

全体では、「している」と回答された方の割合は 69.3%、「していない」は 30.7%となりました。年代別では、「している」と回答された方の割合は、「18～29 歳」で最も低く 21.1%でした。しかし、年代が上がるに従って加入している割合も高くなり、「80 歳以上」で 87.9%となりました。居住年数別では、「10 年未満」で「している」と回答された方の割合は 47.2%、「10 年以上」で 77.9%となり、居住年数が長いと加入している割合が高くなる傾向が見られました。性別では大きな差異は見られませんでした。

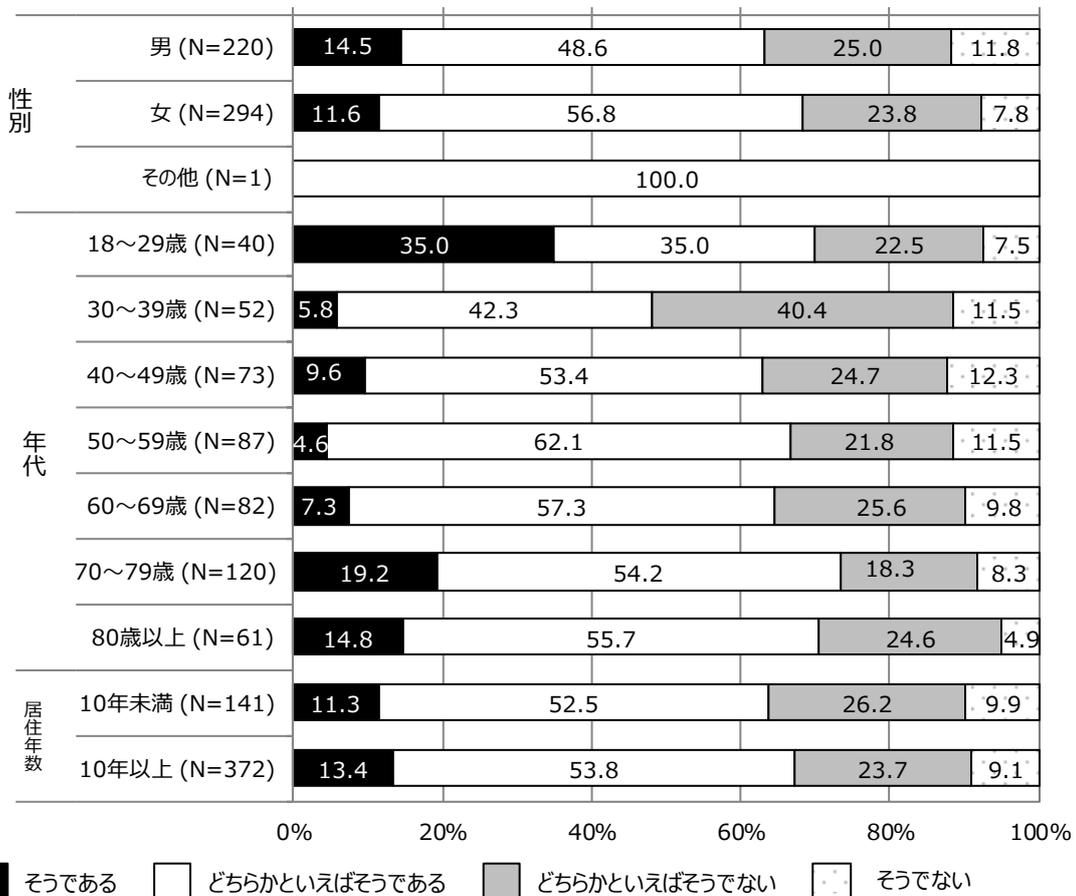
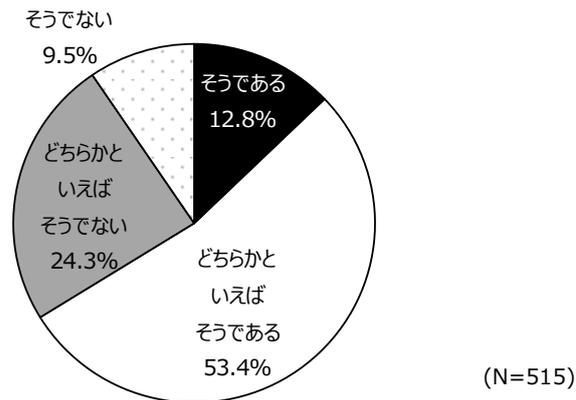


6. すべてのひとが尊重されるまちについて

6-1 人権が尊重されているかに関する認識状況

問 24	あなたは、「生野区は人権が尊重されているまちである」と感じますか。	単一回答
-------------	-----------------------------------	------

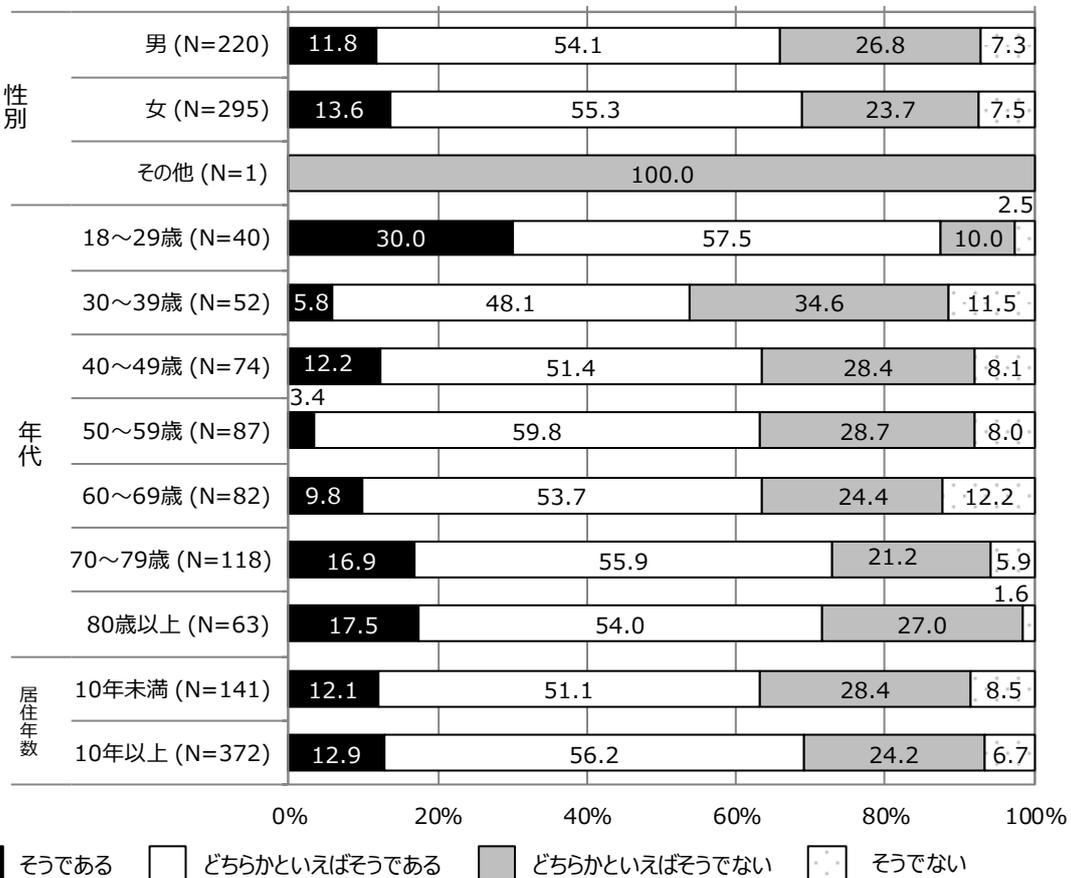
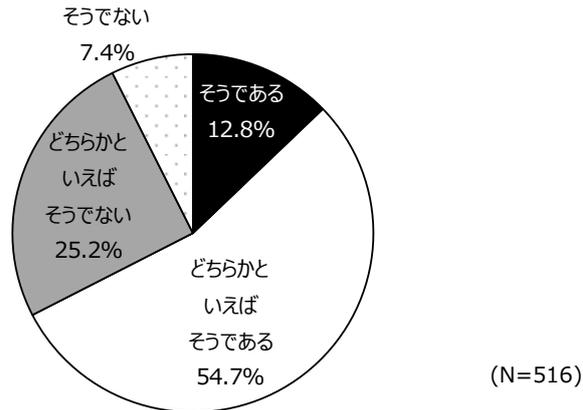
全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」で割合は 53.4%でした。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 66.2%となりました。性別では、「男性」の肯定的意見の割合は 63.1%、「女性」は 68.4%となり、「女性」のほうが人権が尊重されていると感じていることがわかります。年代別では、「30～39 歳」の肯定的意見の割合は 48.1%となり最も低い割合を示しましたが、それ以外の年代においては 60%を超える結果となりました。居住年数別において大きな差異は見られませんでした。



6-2 多様な人々の人権が尊重され、人にやさしいまちであるかどうかに対する評価

問 25	生野区は外国籍住民・障がい者・高齢者・子どもをはじめとする多様な人々の人権が尊重され、人にやさしいまちであると感じますか。	単一回答
-------------	---	------

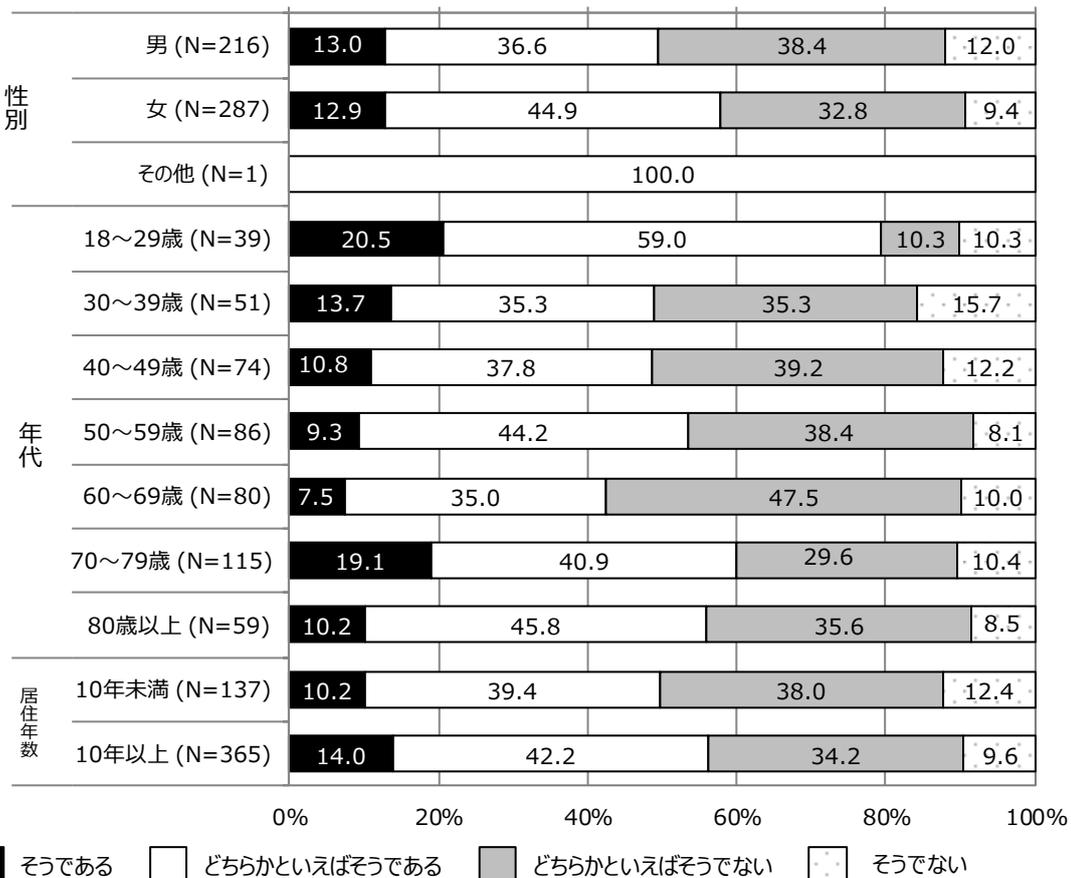
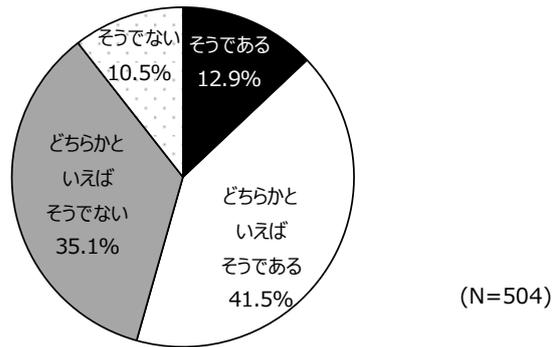
全体では、「どちらかといえばそうである」と回答した方の割合が最も高く 54.7%となりました。「そうである」と合わせた肯定的意見の割合は 67.5%となりました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かった年代は「18～29 歳」で 87.5%でした。居住年数別では、「10 年未満」の方の肯定的意見の割合は 63.2%、「10 年以上」で 69.1%となり、居住年数が長いと人権が尊重され、人にやさしいまちであると感じる傾向が見られました。性別による大きさ差異は見られませんでした。



6-3 外国籍住民と地域住民との交流状況

問 26	生野区は区内に住む外国籍住民と地域住民との交流が日常的に図られているまちだと感じますか。	複数回答
-------------	--	------

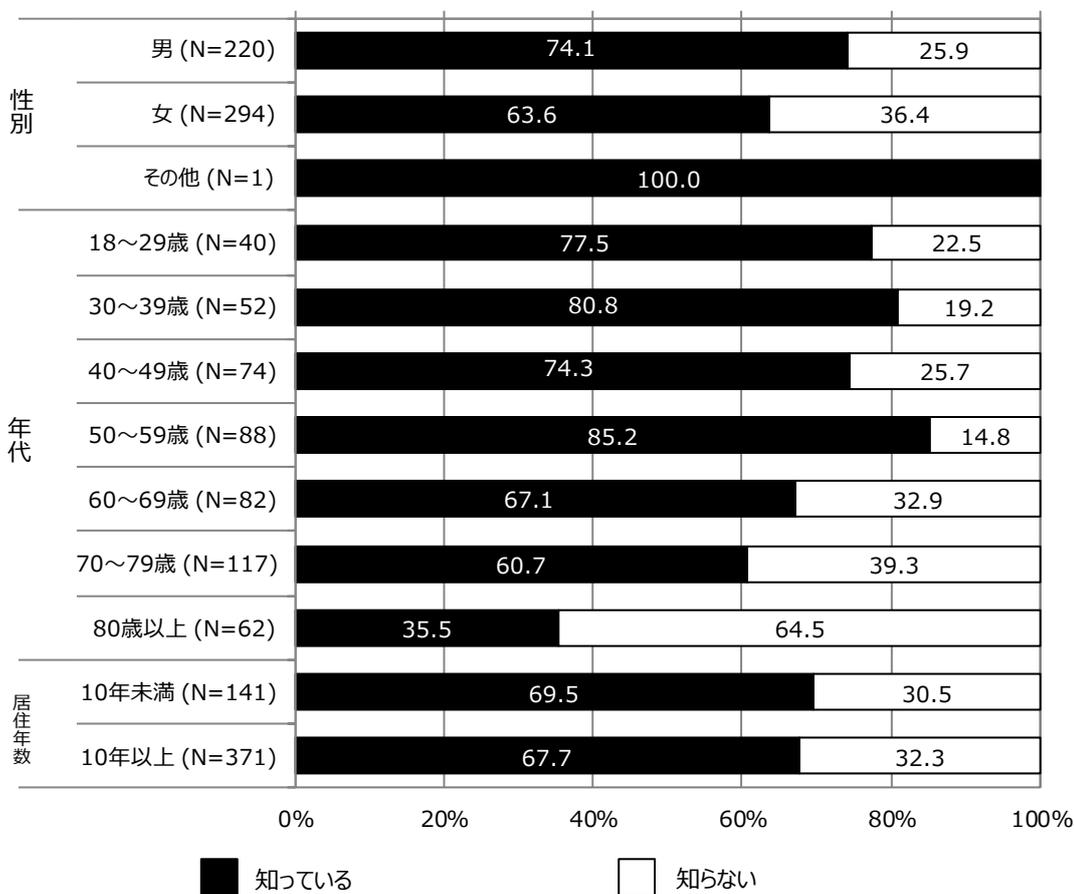
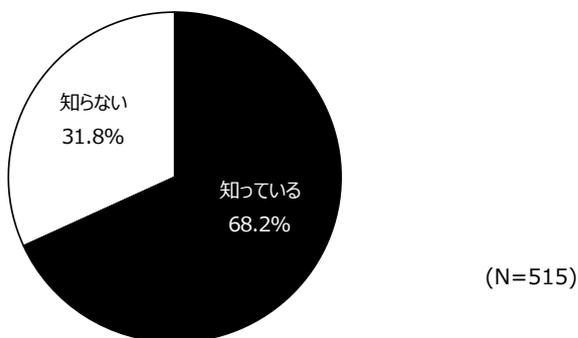
全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」で割合は 41.5%でした。「そうである」の割合を含めた肯定的意見の割合は 54.4%となり、半数以上の方が外国籍住民との交流が日常的に図られていると感じていることがわかります。性別では「男性」の肯定的意見の割合は 49.6%、「女性」は 57.8%となり、「女性」のほうが高い割合を示しました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高い年代は「18～29歳」で 79.5%となりました。居住年数別では、「10年未満」の方の肯定的意見の割合は 49.6%、「10年以上」で 56.2%となり、居住年数が長いと肯定的意見の割合が高くなる傾向が見られました。



6-4 「LGBT」という言葉の認知状況

問 27	あなたは、「LGBT（※）」という言葉の意味を知っていますか。	単一回答
	※ 「L」はレズビアン（女性同性愛者）、「G」はゲイ（男性同性愛者）、「B」はバイセクシャル（両性愛者）、「T」はトランスジェンダー（性同一性障がいなどの性別違和）の頭文字をとった略語。トランスジェンダーは、生物学的な性（からだの性）と自己意識（こころの性）が一致しない人のことです。	

全体では、「知っている」と回答された方の割合は 68.2%、「知らない」と回答された方の割合は 31.8%となりました。性別では、「男性」の方で「知っている」と回答された方の割合は 74.1%、「女性」は 63.6%となり、「男性」のほうが「女性」より知っている結果となりました。年代別では 18～59 歳の各年代にて「知っている」と回答された方の割合は 70%を超える結果となりました。居住年数別では大きな差異は見られませんでした。

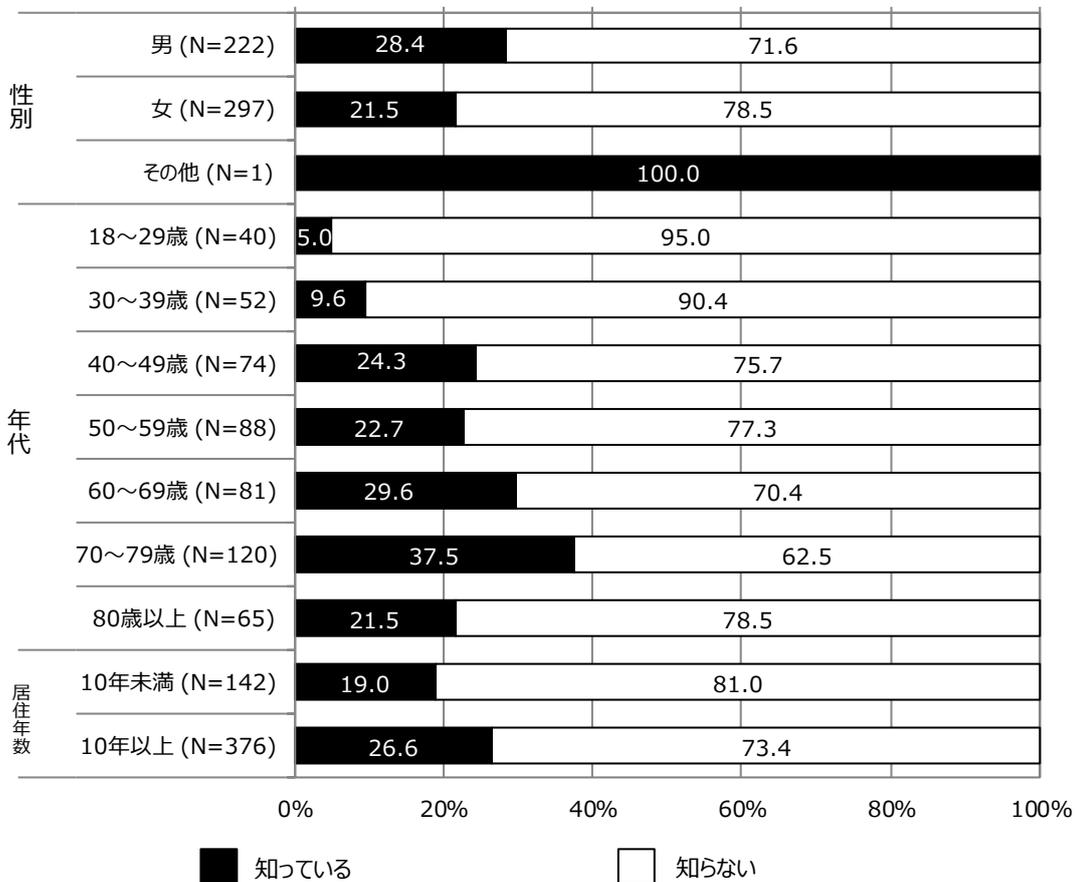
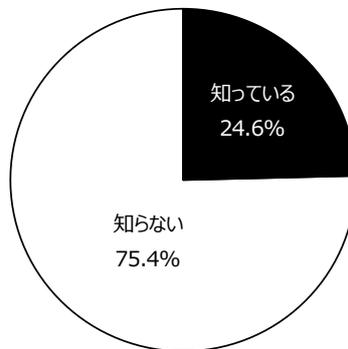


7. まちの魅力について

7-1 生野区ホームページで公開している「ものづくり百景」の認知状況

問 28	あなたは、生野区ホームページにおいて、ものづくり企業で働く人や技術の魅力について記事とイラストで紹介している「ものづくり百景」が公開されていることを知っていますか。	単一回答
-------------	--	------

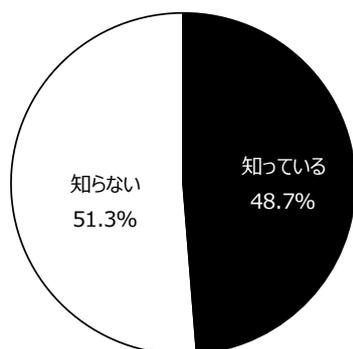
全体では「知っている」と回答された方の割合は 24.6%、「知らない」は 75.4%となりました。性別では、「男性」で「知っている」と回答された方の割合は 28.4%、「女性」は 21.5%となり、「男性」のほうがより知っている結果となりました。年代別では、18～39歳の各年代においては、「知っている」と回答された方の割合は 10%以下となりましたが、他の年代では 20%以上となり、「70～79歳」では 37.5%と最も高い割合を示しました。居住年数別では、「10 年未満」の方で「知っている」と回答された方の割合は 19.0%、「10 年以上」は 26.6%となり、居住年数が長い方がより知っている結果となりました。



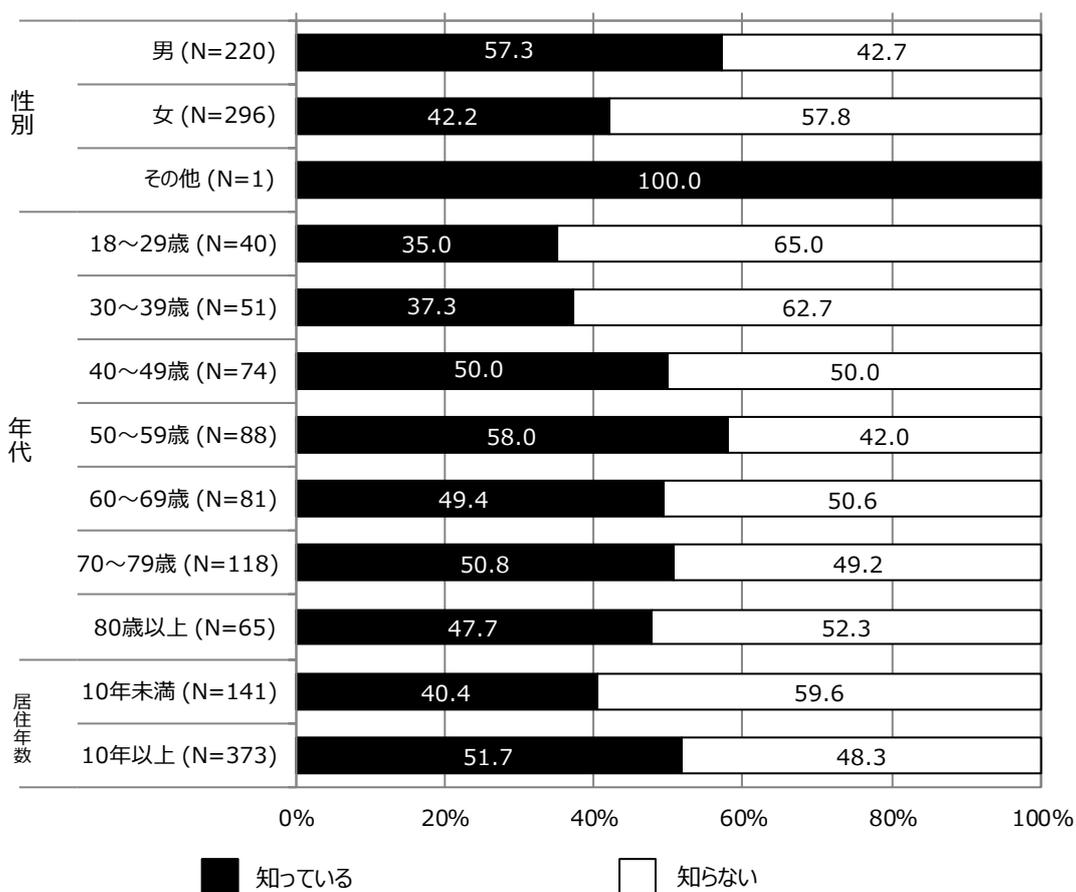
7-2 ものづくり企業の集積地であるという認知状況

問 29	生野区がものづくり企業の集積地（複数の産業の企業群が集まる地域）であることを知っていますか。	単一回答
-------------	--	------

全体では、「知っている」と回答された方の割合は 48.7%、「知らない」は 51.3%となり、半数近い方が知っている結果となりました。性別では「知っている」と回答された「男性」の方は57.3%、「女性」は42.2%となり、「男性」のほうがより知っている結果となりました。年代別では 18～39 歳の各年代で「知っている」と回答された方の割合は 40%以下となりました。しかし、40 歳以上の各年代では半数近い割合を示し、「50～59 歳」では 58.0%と最も高い割合となりました。居住年数別では「10 年未満」の方で「知っている」と回答された方の割合は 40.4%でしたが、「10 年以上」の方は 51.7%となり、居住年数が長いとより知っている傾向が見られました。



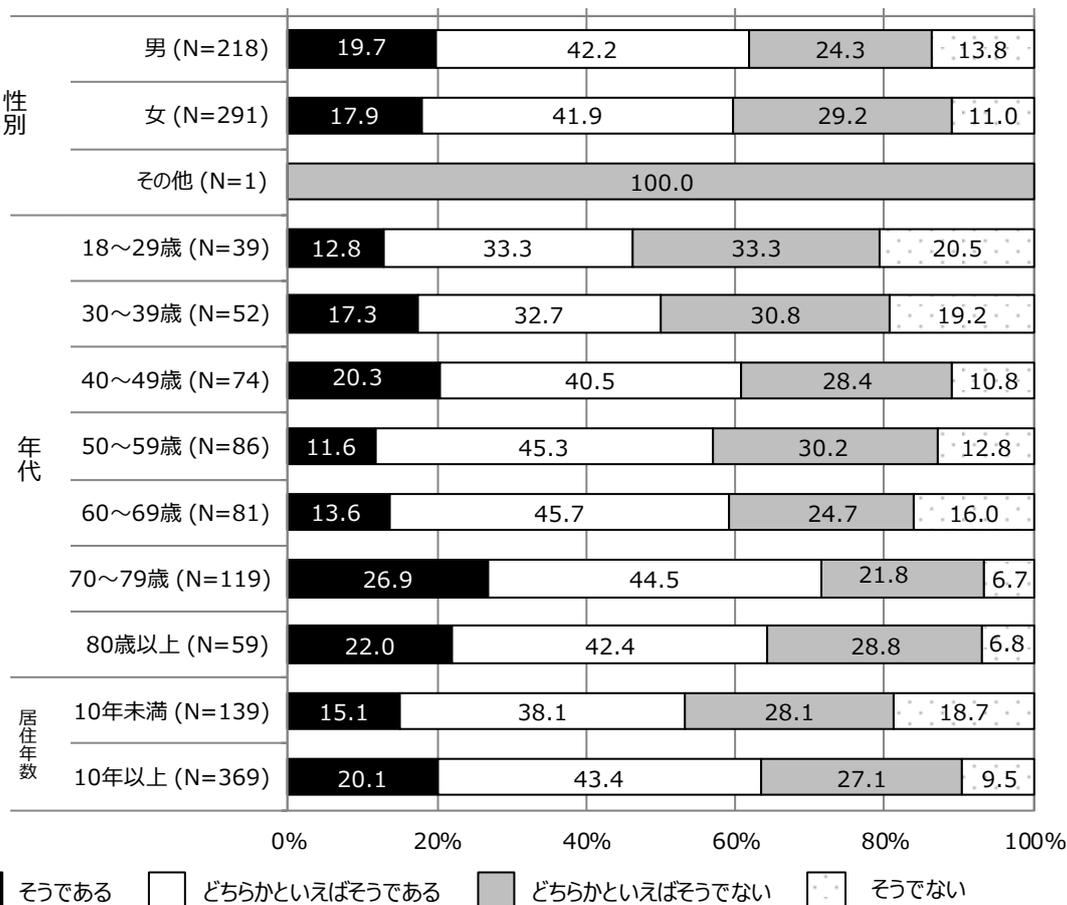
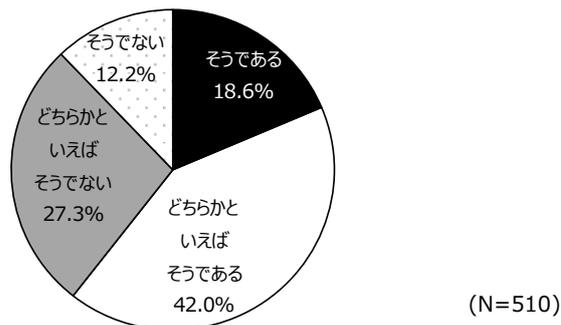
(N=517)



7-3 「ものづくりのまち生野」としての愛着について

問 30 あなたは、生野区が「ものづくりのまち」であることに愛着を感じますか。 単一回答

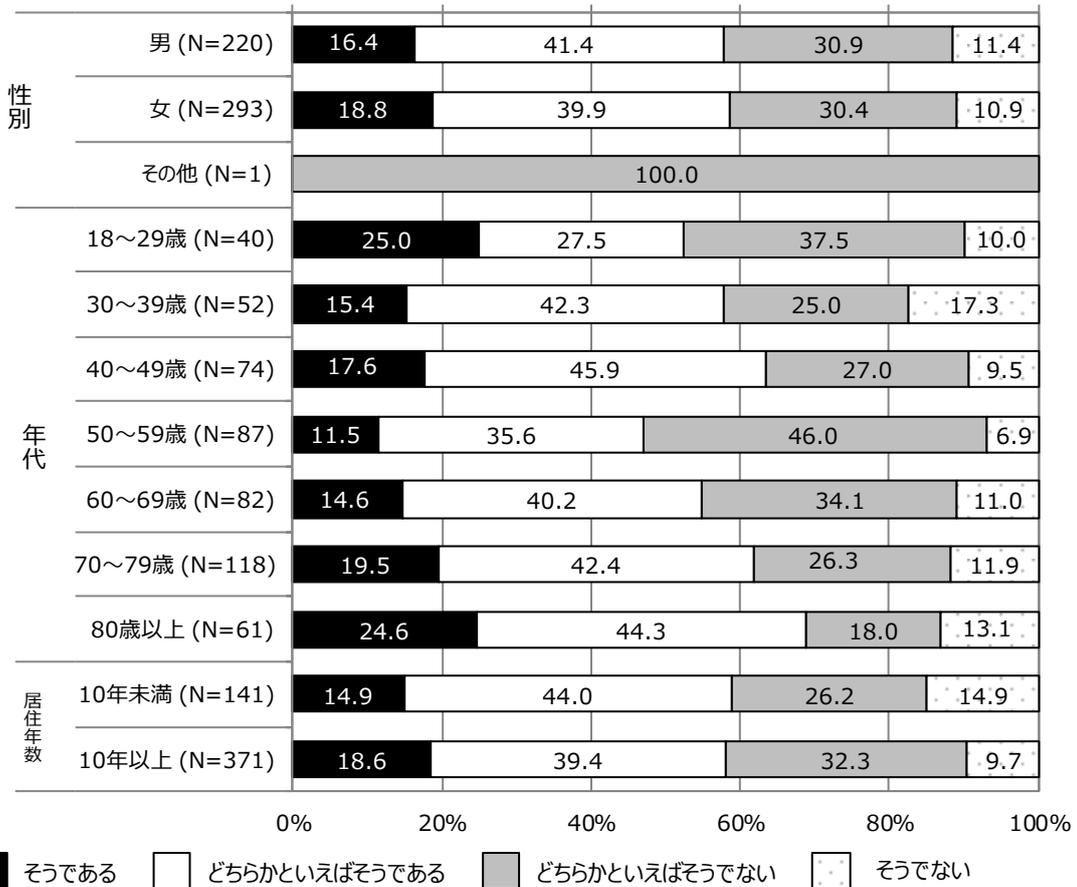
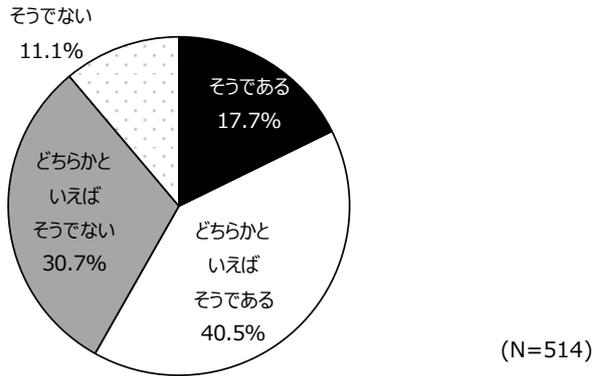
全体では「どちらかといえばそうである」と回答された方の割合が最も高く 42.0%となりました。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 60.6%となり、半数以上の方が愛着を感じている結果となりました。年代別では肯定的意見の割合が最も高かった年代は「70～79 歳」で 71.4%となりました。居住年数別では、「10 年未満」の方で肯定的意見の割合は 53.2%、「10 年以上」で 63.5%となり、居住年数が長いと愛着を感じる割合が高くなる傾向が見られました。



7-4 多彩な魅力あるまちかどうかについて

問 31	生野区は、ものづくり企業の集積地であり、オンリーワン技術を持った職人や企業が多く集まっています。また、戦前からの古い街並みがそのまま残っており、その街並みが、昭和レトロが残る「古くて新しい」魅力あるまちとしての見方もあります。あなたは、生野区は多彩な魅力のあるまちと感じますか。	単一回答
-------------	---	------

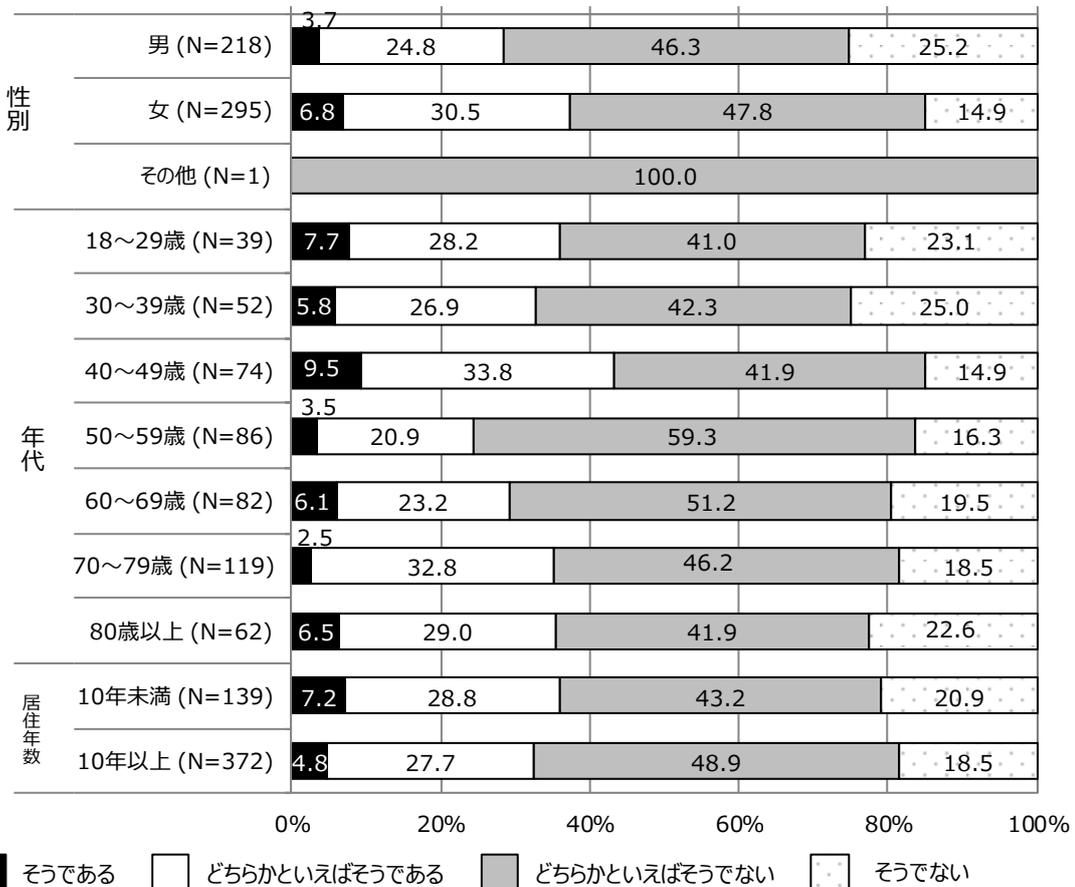
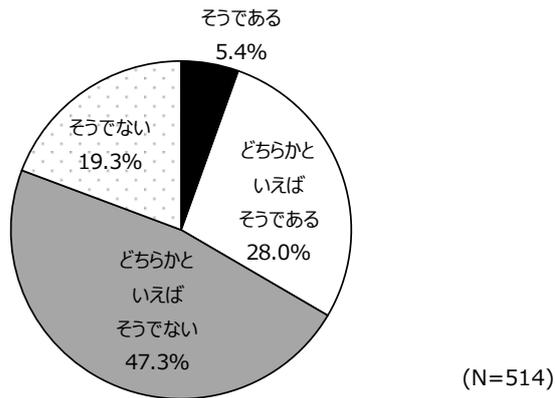
全体では最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 40.5%でした。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 58.2%となり半数以上の方が多彩な魅力あるまちと感じていることがわかります。年代別では肯定的意見の割合が最も高かった年代は「80 歳以上」で 68.9%となりました。性別、居住年数別による大きな差異は見られませんでした。



7-5 空き家利活用に関する取組みに対する評価

問 32	生野区広報紙「広報いくの」では、「いくのdeリノベ」というタイトルで、古い家屋をリノベーションし、自分らしい暮らしをしている事例を紹介しています。 あなたは、生野区が空き家利活用に関する取組みが進んでいると感じますか。	単一回答
-------------	--	------

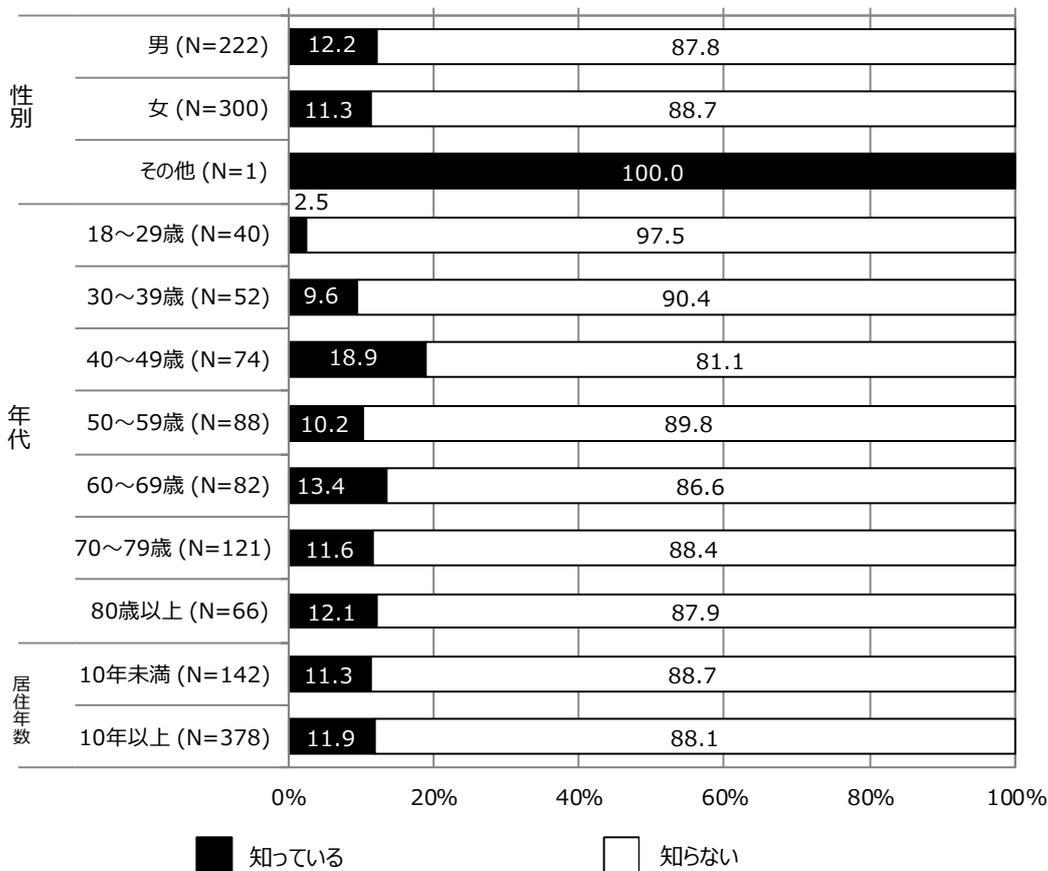
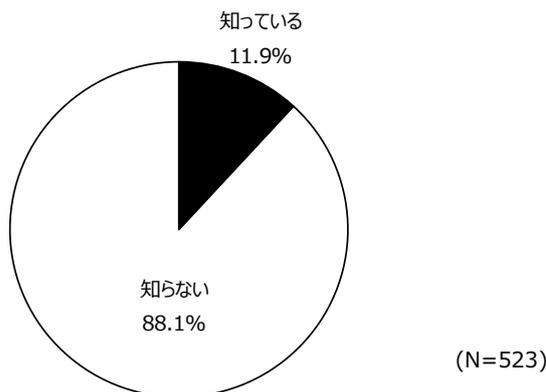
全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうでない」でその割合は 47.3%でした。「そうでない」を合わせた否定的意見の割合は 66.6%となりました。性別では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた肯定的意見の割合は「男性」で 28.5%、「女性」は 37.3%となり、女性の方が高い割合を示しました。年代別では肯定的意見の割合が最も高かった年代は「40～49歳」で 43.3%でした。居住年数別による大きな差異は見られませんでした。



7-6 民間主体の空き家活用を促進している団体の認知状況

問 33	あなたは、生野区において、民間主体の空き家活用を促進している団体があることを知っていますか。	単一回答
-------------	--	------

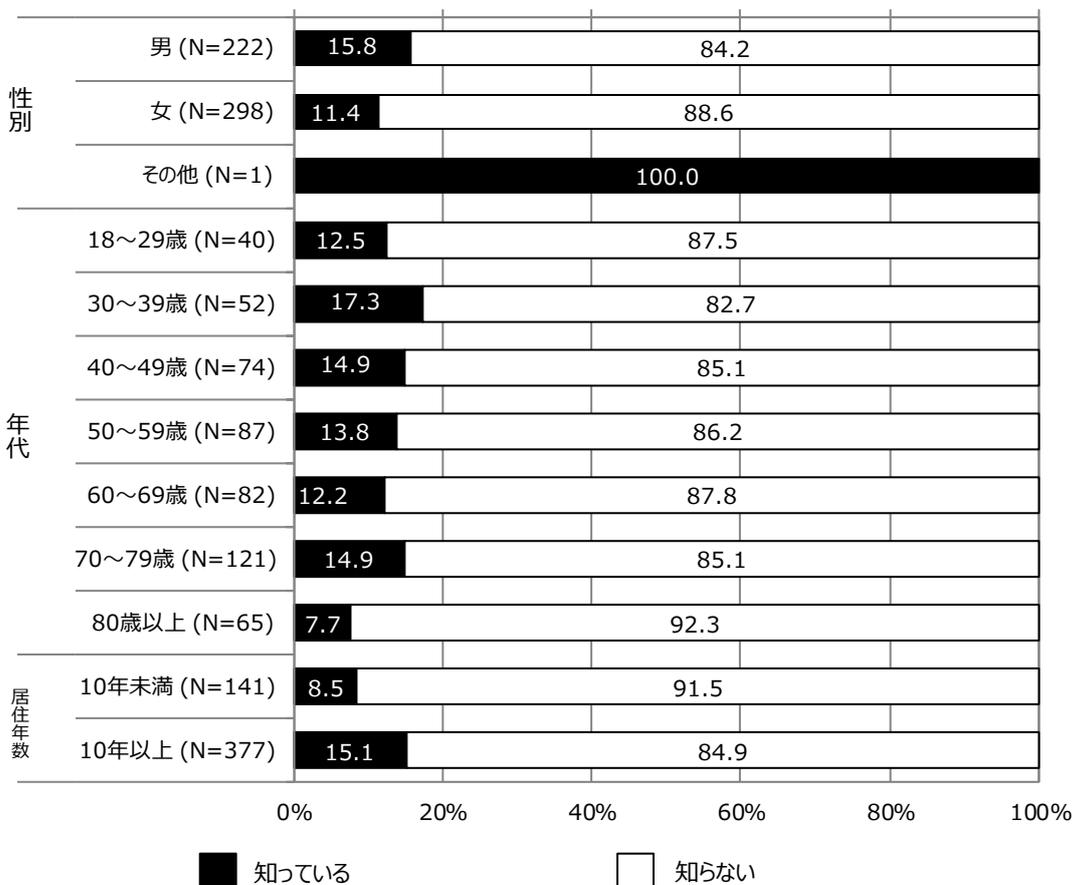
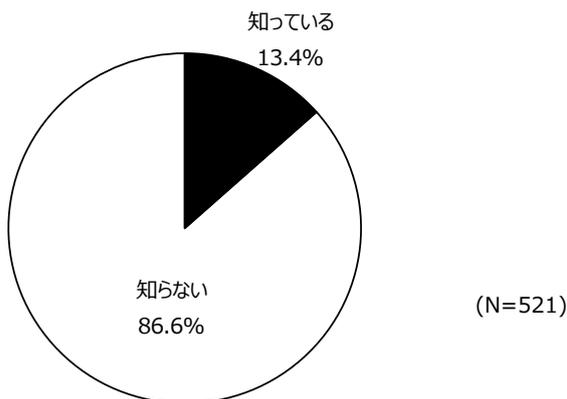
全体では、「知っている」と回答された方の割合は11.9%、「知らない」は88.1%となりました。年代別では「知っている」と回答された方の割合が最も高かった年代は「40～49歳」で18.9%でした。また、最も低かった年代は「18～29歳」で2.5%となり、年代間で大きな差異が見られました。性別、居住年数別による大きな差異は見られませんでした。



7-7 「やさしい日本語」の認知状況

問 34	「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。生野区役所では「やさしい日本語」を広めようと取組みを進めています。 あなたは、「やさしい日本語」のことを知っていますか。	単一回答
-------------	--	------

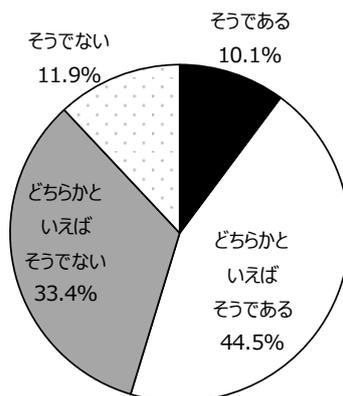
全体では、「知っている」と回答された方の割合は 13.4%、「知らない」は 86.6%となりました。年代別では「知っている」と回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39 歳」で 17.3%となりました。居住年数別では、「10 年未満」で「知っている」と回答された方の割合は 8.5%、「10 年以上」で 15.1%となり、居住年数が長いと「やさしい日本語」のことをより知っている傾向が見られました。性別による大きな差異は見られませんでした。



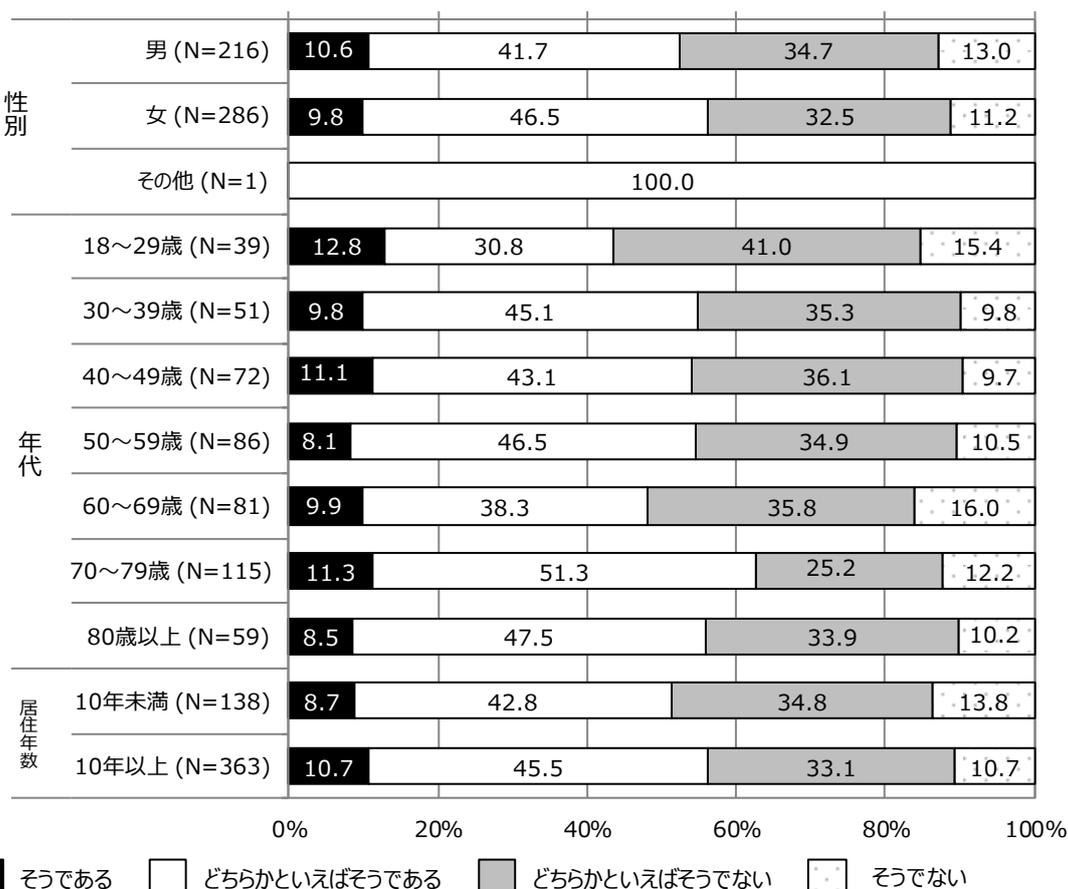
7-8 外国人への情報発信に対する配慮の有無について

問 35 生野区役所の情報発信が、外国人に対しても配慮されていると感じますか。 単一回答

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 44.5%となりました。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 54.6%となり、半数以上の方が配慮されていると感じている結果となりました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かった年代は「70～79 歳」で 62.6%となりました。性別、居住年数別では大きな差異は見られませんでした。



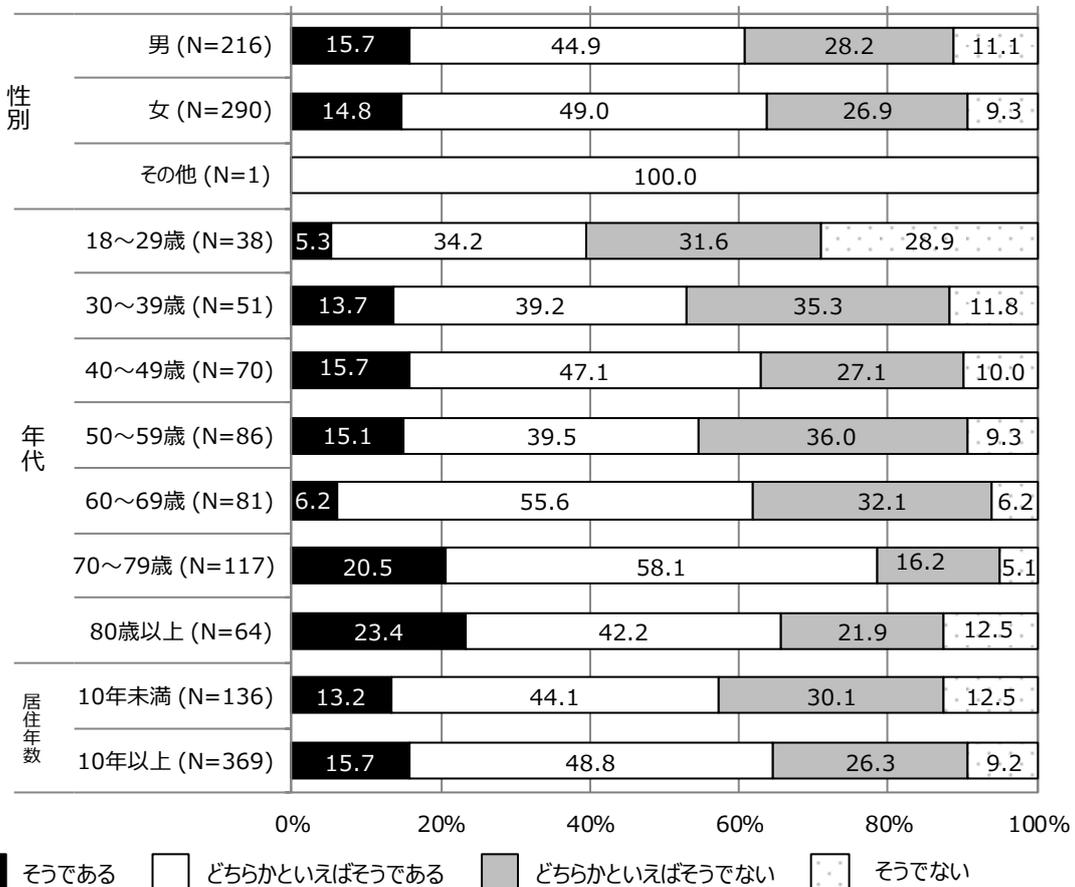
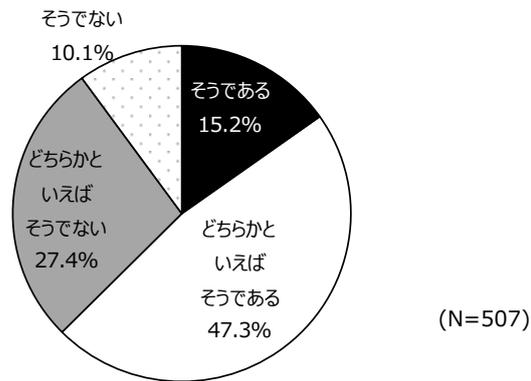
(N=503)



7-9 広報紙「広報いくの」に対する評価

問 36	生野区役所では、2018年5月に広報紙「広報いくの」をリニューアルし、紙面数を増やして、特集や連載記事を掲載しています。 広報紙「広報いくの」は、区民の皆さんにとって、以前より魅力ある内容になっていると感じますか。	単一回答
-------------	--	------

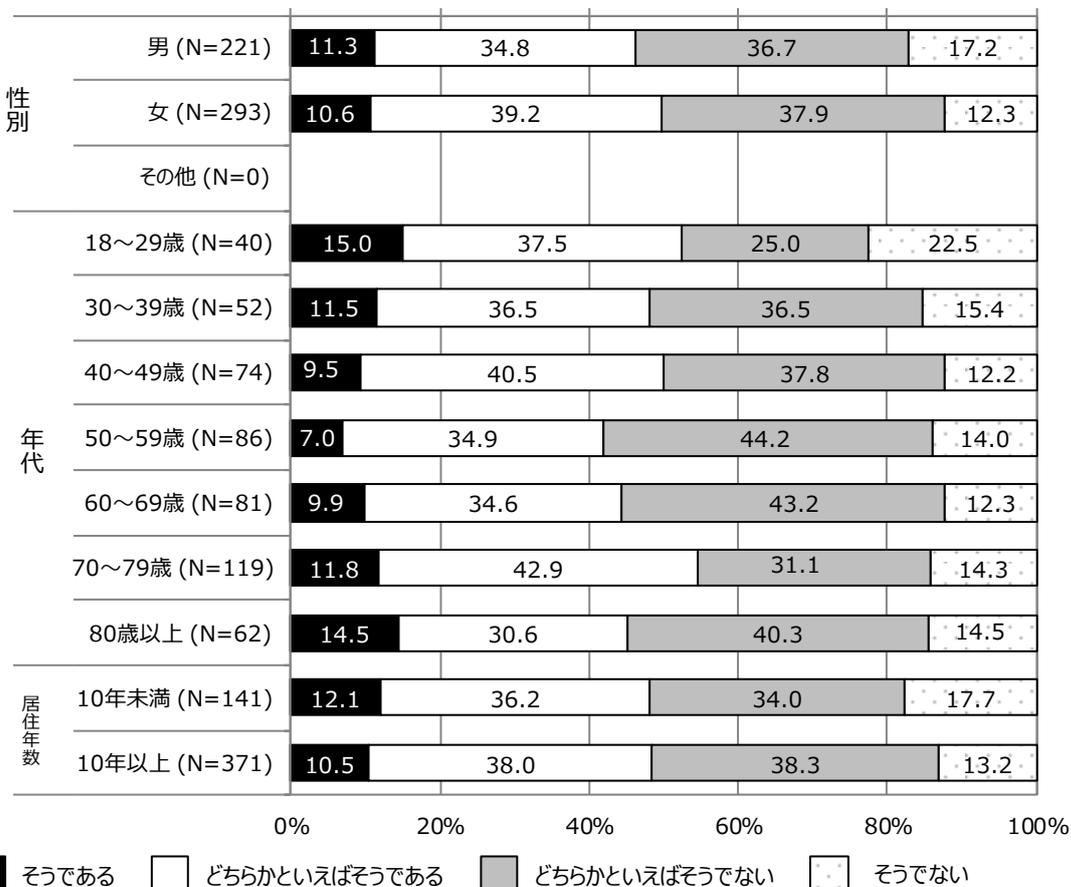
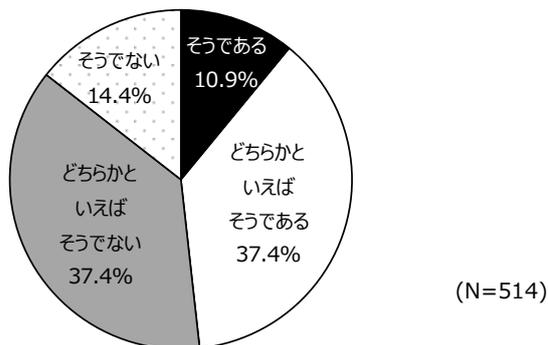
全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」でその割合は 47.3%でした。「そうである」を合わせた肯定的意見の割合は 62.5%となり、広報紙「広報いくの」が以前より魅力ある内容になっていることがわかります。年代別では、肯定的意見が最も多かった年代は「70～79 歳」で 78.6%でした。居住年数別では、「10 年未満」の方で肯定的意見の割合は 57.3%、「10 年以上」は 64.5%となり、居住年数が長いほうが肯定的意見の割合が高い傾向が見られました。性別による大きな差異は見られませんでした。



7-10 住みたいと感じる魅力あるまちかどうかについて

問 37	あなたは、生野区は様々な人々が訪れ、住みたいと感じられるような魅力あるまちだと感じますか。	単一回答
-------------	---	------

全体では、最も多かった回答は「どちらかといえばそうである」と「どちらかといえばそうでない」でそれらの割合は 37.4%となりました。「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた肯定的意見の割合は 48.3%となり、半数近い方が魅力あるまちだと感じている結果となりました。年代別では、肯定的意見の割合が最も高かった年代は「70～79歳」で 54.7%となりました。性別、居住年数別では大きな差異は見られませんでした。



7-1-1 生野区の魅力

問 38	あなたが思う生野区の魅力（いいところ）は何ですか。	自由記述
-------------	---------------------------	------

生野区の魅力（いいところ）について、304 名の方から 404 件の回答がありました。

主な内容	件数
住みやすい・生活しやすい	55
外国人とうまく共存できている	51
気さく・人情味がある・人が優しい	46
買物が便利・物価が安い	35
交通の便がよい	28
住民同士の交流が多い	23
安全・安心・治安が良い	10
気取らない・気が楽	9
おいしい食べ物や飲食店が多い	8
子育てしやすい	7
下町の雰囲気	6
多様性を受け入れている	6
明るく活気がある	6
高齢者向けサービスが充実	4
イベントや祭りがある	4
病院が近くにある	3
公園が多い・近くにある	3
落ち着いて静かな環境	2
区役所の人親切	2
モノづくりが盛ん	2
人が多すぎない	2
古いものと新しいものが共存	2
自由に生きられる	2
就労機会が多い	1
学校が近い	1
介護施設が充実	1
リノベ企画	1
差別が少ない	1
銭湯が多い	1
住環境の整備が進んでいる	1
防災訓練に力を入れている	1
わからない	11
なし	49
その他	20
合計	404

第3章 参考資料

1. 令和元年度「区政に関する区民アンケート」ご協力のお願い

令和元年度「区政に関する区民アンケート」ご協力のお願い

大阪市生野区長 山口照美

平素は生野区政に格別のご協力をいただき、誠にありがとうございます。
生野区役所では、さまざまな施策・取組みをすすめており、今年度の生野区の取組みに対して評価をいただきたく、アンケートを次のとおり実施いたします。
つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ アンケートについて ■

1. このアンケートは、生野区内にお住まいの18歳以上の方から無作為に抽出した1,300名の方にお送りしています。
2. アンケートは、無記名方式です。
3. 調査票は39問あり、記入するのに15分程度かかります。
4. 記入はボールペン、鉛筆のどちらを使っても構いません。
5. お答えいただくアンケートの内容・個人情報につきましては、統計的にデータをまとめた上で分析します。個人が特定できる形で利用・公表されることはありません。
6. アンケートの集計結果は、生野区広報紙「広報いくの」及び生野区ホームページに掲載いたします。
7. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和2年1月6日(月)**までに郵便ポストに投函してください。



本調査に関するお問合せ先

大阪市生野区役所 企画総務課
〒544-8501 大阪市生野区勝山南 3-1-19
電話：06-6715-9683 FAX：06-6717-1160

昨年度の調査結果の概要はこちら⇒

生野区 30年度 区民アンケート

検索

2. アンケート本紙

令和元年度 生野区 区政に関する区民アンケート

1

【各設問の該当する番号を○で囲み、自由記入欄には内容を記入してください。】

		男		女		その他			
1	あなたの性別をお答えください。	1	2	3 ()					
		18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
2	あなたの年齢をお答えください。	1	2	3	4	5	6	7	8
		1年未満		1年以上 10年未満		10年以上			
3	あなたが現在の住所にお住まいになってからの年数をお答えください。	1	2	3					
		している			していない				
		小学校 就学前	小学生	中学生					
4	あなたは現在、中学生以下のお子さまの子育てをしていますか。 (すべてのお子さまを回答)	1	2	3	4				

安全・安心について

		ある	ない		
5	地域で行っている自主防災訓練に参加したことはありますか。	1	2		
		そうである	どちらかといえ ばそうである	どちらかといえ ばそうでない	そうでない
6	地域での日頃からの防災訓練などの防災活動が重要だと感じますか。	1	2	3	4
7	住民の防災意識が高まっていると感じますか。	1	2	3	4
8	住民同士の協力により、「自分たちの地域は自分たちで守る」ための活動をしていると感じていますか。	1	2	3	4
9	地域住民の防犯への取り組みが、地域の安全につながると感じますか。	1	2	3	4
		知っている	知らない		
10	区や地域の防災マップ・水害ハザードマップ・市民防災マニュアルなどが作成されていることを知っていますか。	1	2		
11	あなたは、自転車交通マナーアップに向けた取り組みが行われていることを知っていますか。	1	2		
		そうである	どちらかといえ ばそうである	どちらかといえ ばそうでない	そうでない
12	区民の自転車交通マナーが以前より向上していると感じますか。	1	2	3	4



あと3ページ!



子育て・教育について

	そうである	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうでない	そうでない
13 区内の各小中学校で、地域との連携や学校独自の取り組みなど特色ある学校づくりが進められていると感じますか。	1	2	3	4
14 区内の各小中学校で、特色ある学校づくりの情報発信に関する区役所の取り組みが進んでいると感じますか。	1	2	3	4
15 子育てのしやすいまちであると感じますか。	1	2	3	4
	知っている	知らない		
16 「生涯学習ルーム」とは、学校の特別教室等を活用して、様々な講座を開催し、学ぶことを通して地域の人たちの交流を進め、学んだことを伝えていく、また新たな取り組みを生み出していく活動の場です。 あなたは、各小中学校で実施している「生涯学習ルーム」を知っていますか。	1	2		
	そうである	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうでない	そうでない
17 学校だけでなく、地域でさまざまな学習、体験や交流ができる機会があると感じますか。	1	2	3	4

がん検診について

	ある	ない
18 あなたはがん検診を受けたことがありますか。	1	2
19 上の質問で、「ない」とお答えした方へおたずねします。 あなたががん検診を受けないのはどうしてですか。	()	
	区役所	医療機関
20 がん検診をもし受けたら、区役所または医療機関、どちらでの受診を希望しますか。	1	2

大きな公共を担う地域社会について

	そうである	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうでない	そうでない
21 地域におけるつながりが強くなり、支援を必要としている方が安全・安心に暮らせるようになったと感じますか。	1	2	3	4
	知っている	知らない		
22 生野区を盛り上げるさまざまな取組が各地域で行われていることを知っていますか。	1	2		
	している	していない		
23 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。	1	2		



あと2ページ!



すべてのひとが尊重されるまちについて

	そうである	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうでない	そうでない
24 あなたは、「生野区は人権が尊重されているまちである」と感じますか。	1	2	3	4
	そうである	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうでない	そうでない
25 生野区は外国籍住民・障がい者・高齢者・子どもをはじめとする多様な人々の人権が尊重され、人にやさしいまちであると感じますか。	1	2	3	4
26 生野区は区内に住む外国籍住民と地域住民との交流が日常的に図られているまちだと感じますか。	1	2	3	4
	知っている	知らない		
27 あなたは、「LGBT(※)」という言葉の意味を知っていますか。	1	2		
※ 「L」はレズビアン(女性同性愛者)、「G」はゲイ(男性同性愛者)、「B」はバイセクシャル(両性愛者)、「T」はトランスジェンダー(性同一性障がいなどの性別違和)の頭文字をとった略語。トランスジェンダーは、生物学的な性(からだの性)と自己意識(こころの性)が一致しない人のことです。				

まちの魅力について

	知っている	知らない			
28 あなたは、生野区ホームページにおいて、ものづくり企業で働く人や技術の魅力について記事とイラストで紹介している「ものづくり百景」が公開されていることを知っていますか。	1	2			
29 生野区がものづくり企業の集積地(複数の産業の企業群が集まる地域)であることを知っていますか。	1	2			
	そうである	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうでない	そうでない	
30 あなたは、生野区が「ものづくりのまち」であることに愛着を感じますか。	1	2	3	4	
31 生野区は、ものづくり企業の集積地であり、オンリーワン技術を持った職人や企業が多く集まっています。また、戦前からの古い街並みがそのまま残っており、その街並みが、昭和レトロが残る「古くて新しい」魅力あるまちとしての見方もあります。 あなたは、生野区は多彩な魅力のあるまちと感じますか。	1	2	3	4	
32 生野区広報紙「広報いくの」では、「いくのdeリノベ」というタイトルで、古い家屋をリノベーションし、自分らしい暮らしをしている事例を紹介しています。 あなたは、生野区が空き家活用に関する取組みが進んでいると感じますか。	1	2	3	4	
	知っている	知らない			
33 あなたは、生野区において、民間主体の空き家活用を促進している団体があることを知っていますか。	1	2			

あと1ページ!



		知っている	知らない		
34	「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。 生野区役所では「やさしい日本語」を広めようと取組みを進めています。 あなたは、「やさしい日本語」のことを知っていますか。	1	2		
		そうである	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうでない	そうでない
35	生野区役所の情報発信が、外国人に対しても配慮されていると感じますか。	1	2	3	4
36	生野区役所では、2018年5月に広報紙「広報いくの」をリニューアルし、紙面数を増やして、特集や連載記事を掲載しています。 広報紙「広報いくの」は、区民の皆さんにとって、以前より魅力ある内容になっていると感じますか。	1	2	3	4
37	あなたは、生野区は様々な人々が訪れ、住みたいと感じられるような魅力あるまちだと感じますか。	1	2	3	4
38	あなたが思う生野区の魅力(いいところ)は何ですか。				
()					

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて返送してください。

